

法学部に在籍する学生に対する法曹志望に関するアンケート調査結果

法務省
文部科学省

1. 目的・趣旨

法学部に在籍する学生を対象に志望動向等に関する意識調査を実施し、調査を通じて得たデータを収集・分析することによって、法曹志願者の減少に関する要因等を把握し、今後の施策の検討に活用することを目的とする。

2. 調査方法等

I. 対象範囲

下記大学（学部）に在籍する学部生 1年生～4年生

II. 対象大学

平成27年司法試験合格者数上位20校の法科大学院を置く大学

- ・北海道大学（法学部）
- ・東北大学（法学部）
- ・東京大学（文科一類・法学部）
- ・一橋大学（法学部）
- ・名古屋大学（法学部）
- ・京都大学（法学部）
- ・大阪大学（法学部）
- ・神戸大学（法学部）
- ・九州大学（法学部）
- ・慶應義塾大学（法学部）
- ・上智大学（法学部）
- ・中央大学（法学部）
- ・法政大学（法学部）
- ・早稲田大学（法学部）
- ・明治大学（法学部）
- ・同志社大学（法学部）
- ・立命館大学（法学部）
- ・関西大学（法学部）
- ・首都大学東京（都市教養学部／都市教養学科（法学系））
- ・大阪市立大学（法学部）

III. 調査方法

ウェブアンケート

IV. アンケート項目

別添のとおり

3. 調査実施期間

平成28年9月23日（金）～10月9日（日）

4. 結果報告

回答総数：5,096 有効回答数：5,071 無効：25

有効回答数	1年次	2年次	3年次	4年次以上	対象者数	回答率
5,071人	1,496人	1,150人	1,187人	1,238人	41,907人	12.1%

目次

第1 回答者の属性

1 学年	1
2 年齢	1
3 性別	1

第2 進路選択

1 将来の職業（第一志望）として考えているもの	2
（参考）学年別内訳	3
2 職業選択に当たり重視すること	5
（参考）学年別内訳	6
3 法曹等志望の有無	7
（参考）学年別内訳	8

第3 法曹等志望の時期・進路・契機、法曹の魅力等（志望者別）

1 法曹等を志望した時期	9
(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生	9
(2) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生	9
2 法曹としての進路	10
(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生	10
(2) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生	10
3 法曹等志望の契機	11
(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生	11
(2) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生	12
4 法曹等の魅力	13
(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生	13
(2) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生	14
5 法曹有資格者の活動領域の拡大	15
(1) 法曹等の活動領域が拡大していることに対する現状認識	15
ア 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生	15
イ 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生	15
ウ 法曹等を選択肢の1つとして考えていたこともない学生	15

(2) 法曹等の活動領域が拡大している分野（海外、企業、国・自治体等）で働く ことに対する興味・関心の有無	16
ア 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生	16
イ 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生	16
ウ 法曹等を選択肢の1つとして考えていたこともない学生	16
6 司法試験予備校の利用の有無（現在志望・選択肢の1つとして考えている学生 のみ回答）	17
（参考）学年別内訳	17
7 法曹志望に当たっての不安や迷い、断念の理由等	18
(1) 法曹等を志望するに当たっての不安や迷いについて（現在志望・選択肢の1 つとして考えている学生のみ回答）	18
(2) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生の不安や迷い	19
（参考）学年別内訳	20
(3) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生の不安や迷い	22
（参考）学年別内訳	23
(4) 法曹等を選択肢の1つとして考えていたこともない学生の法曹等を志望しな い理由	25
（参考）学年別内訳	26
(5) 法曹等の仕事に魅力を感じない理由について（「法曹等を選択肢の1つとして 考えていたこともない」かつ「法曹等を志望しない理由として法曹等の仕事に 魅力を感じないから」と回答した学生のみ回答）	28
8 法科大学院への進学、大学在学中の予備試験の受験（現在志望・選択肢の1つ として考えている学生のみ回答）	29
(1) 法科大学院への進学予定	29
（参考）学年別内訳	30
(2) 大学在学中の予備試験の受験予定	31
（参考）学年別内訳	32
(3) 法科大学院への進学予定・大学在学中の予備試験の受験予定	33
(4) 大学在学中の予備試験の受験理由（大学在学中に予備試験を受験するつもり である学生のみ回答）	34
（参考）学年別内訳	35
(5) 大学在学中に予備試験に合格した場合における法科大学院への進学予定（大 学在学中に予備試験を受験するつもりである学生のみ回答）	37
（参考）学年別内訳	38

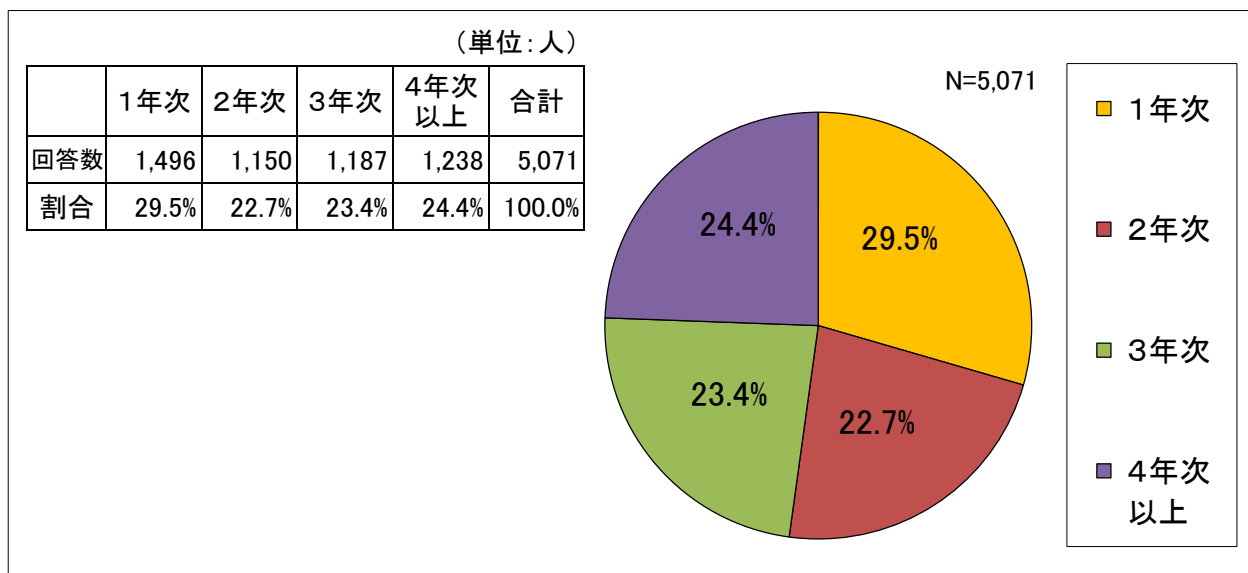
(6) 大学4年次までに予備試験に合格しなかった場合の進路（大学在学中に予備試験を受験するつもりである学生のみ回答）	39
（参考）学年別内訳	40

（参考資料）

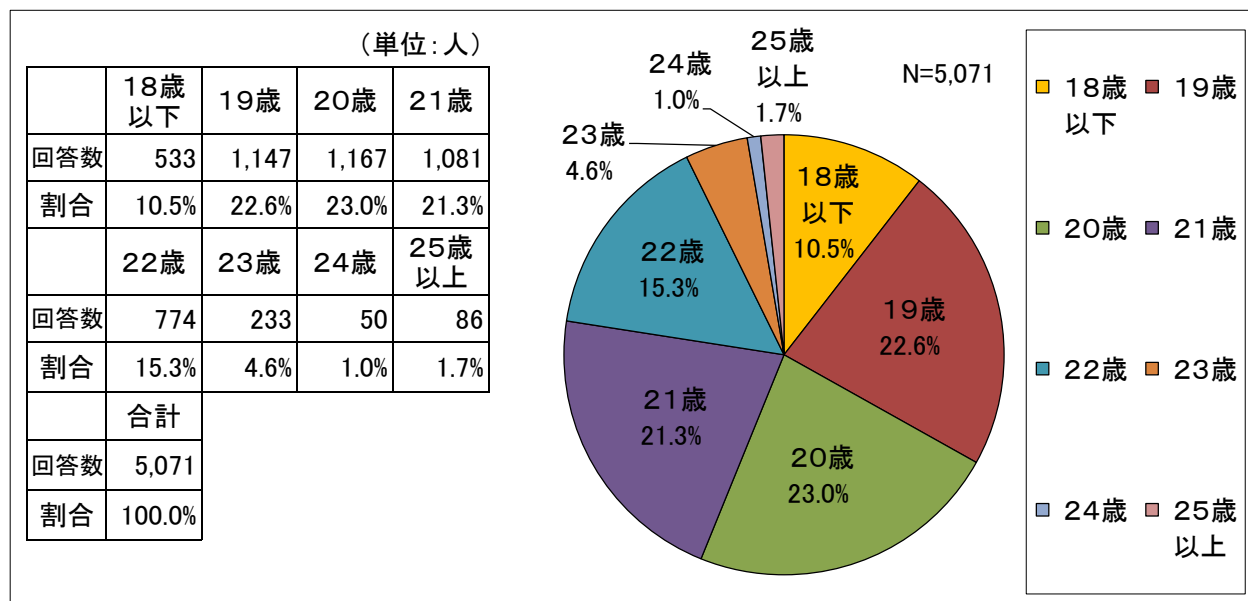
法学部に在籍されている皆様に対する法曹志望に関するアンケート	41
--------------------------------	----

第1 回答者の属性

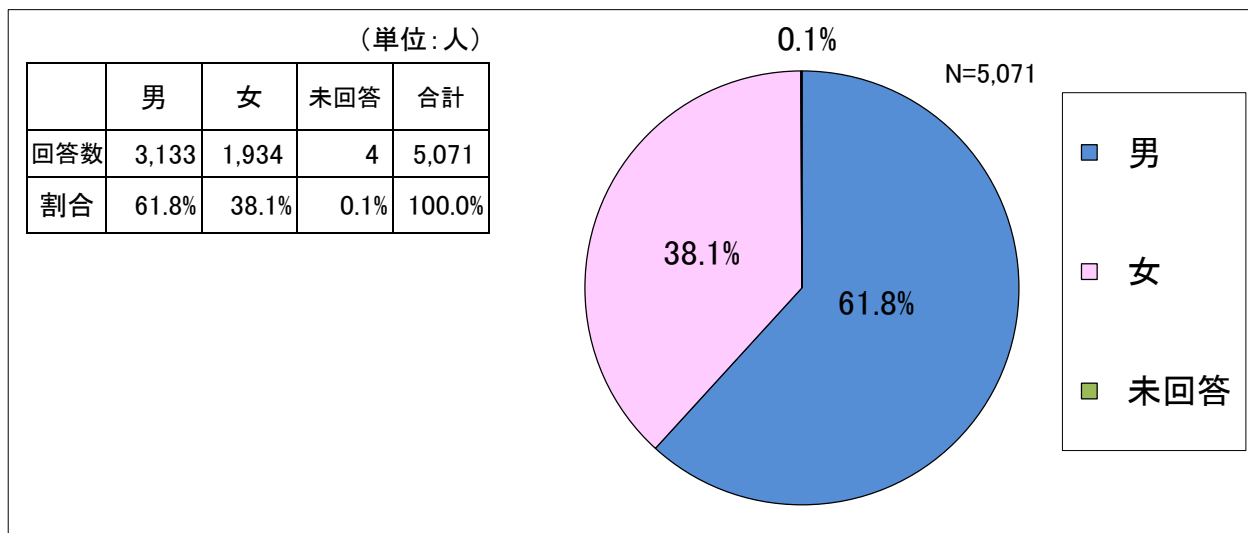
1 学年



2 年齢



3 性別



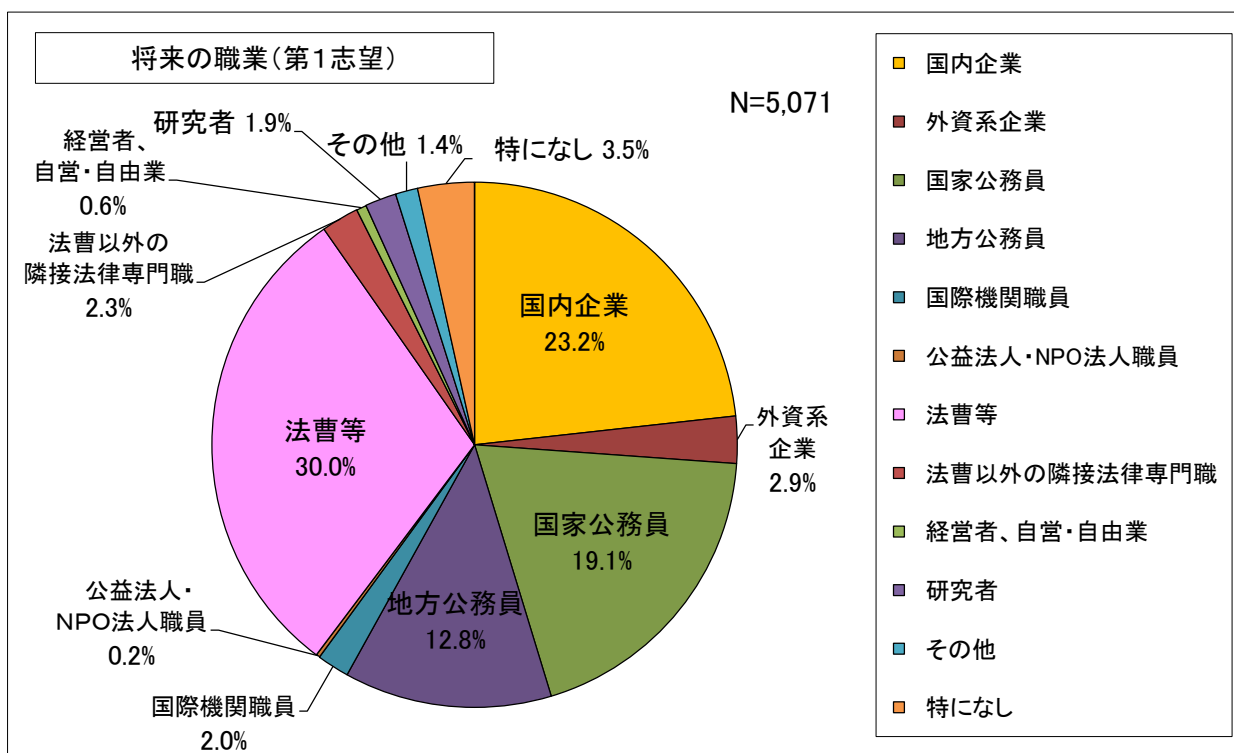
第2 進路選択

1 将来の職業(第一志望)として考えているもの

(単位:人)

	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	国際 機関職員	公益法人・ NPO法人職員	法曹等 (※)	法曹以外の 隣接法律 専門職	経営者、 自営・ 自由業	研究者	その他	特になし	合計
回答数	1,179	147	970	648	101	11	1,523	117	31	98	69	177	5,071
割合	23.2%	2.9%	19.1%	12.8%	2.0%	0.2%	30.0%	2.3%	0.6%	1.9%	1.4%	3.5%	100%

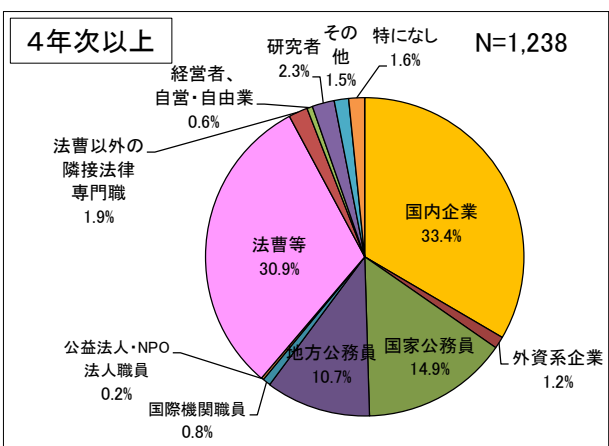
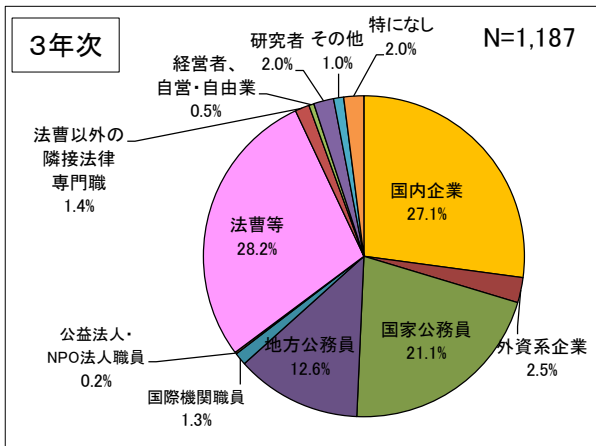
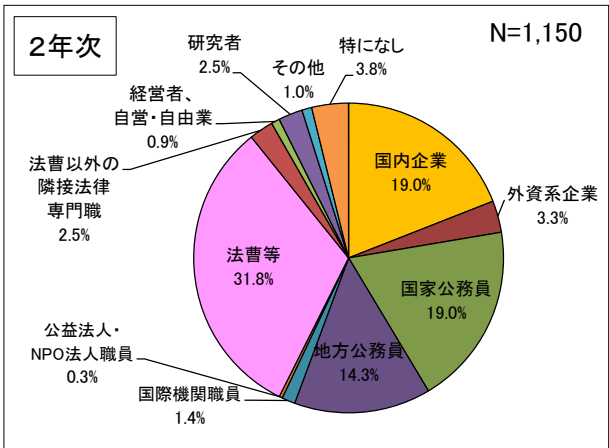
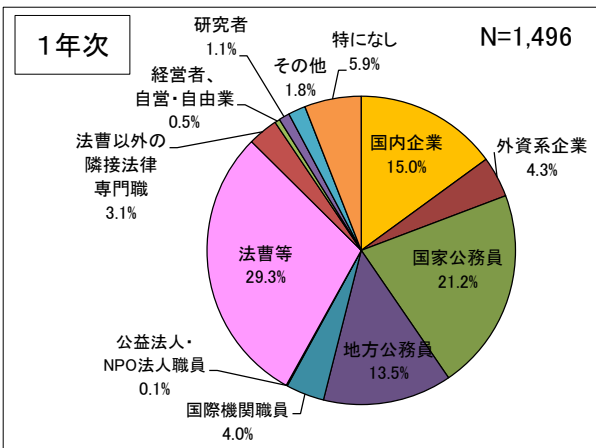
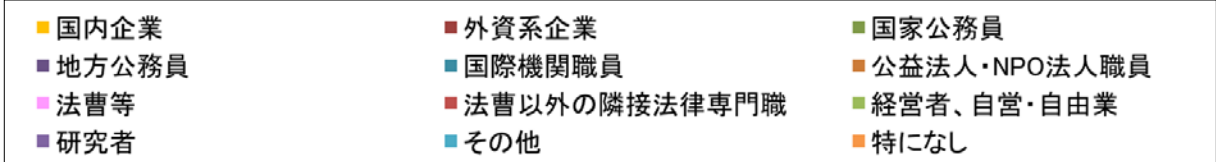
※法曹(裁判官、検察官及び弁護士)のみならず、司法試験合格後、法曹資格を取得せずに活動する場合も含む。以下、同じ。

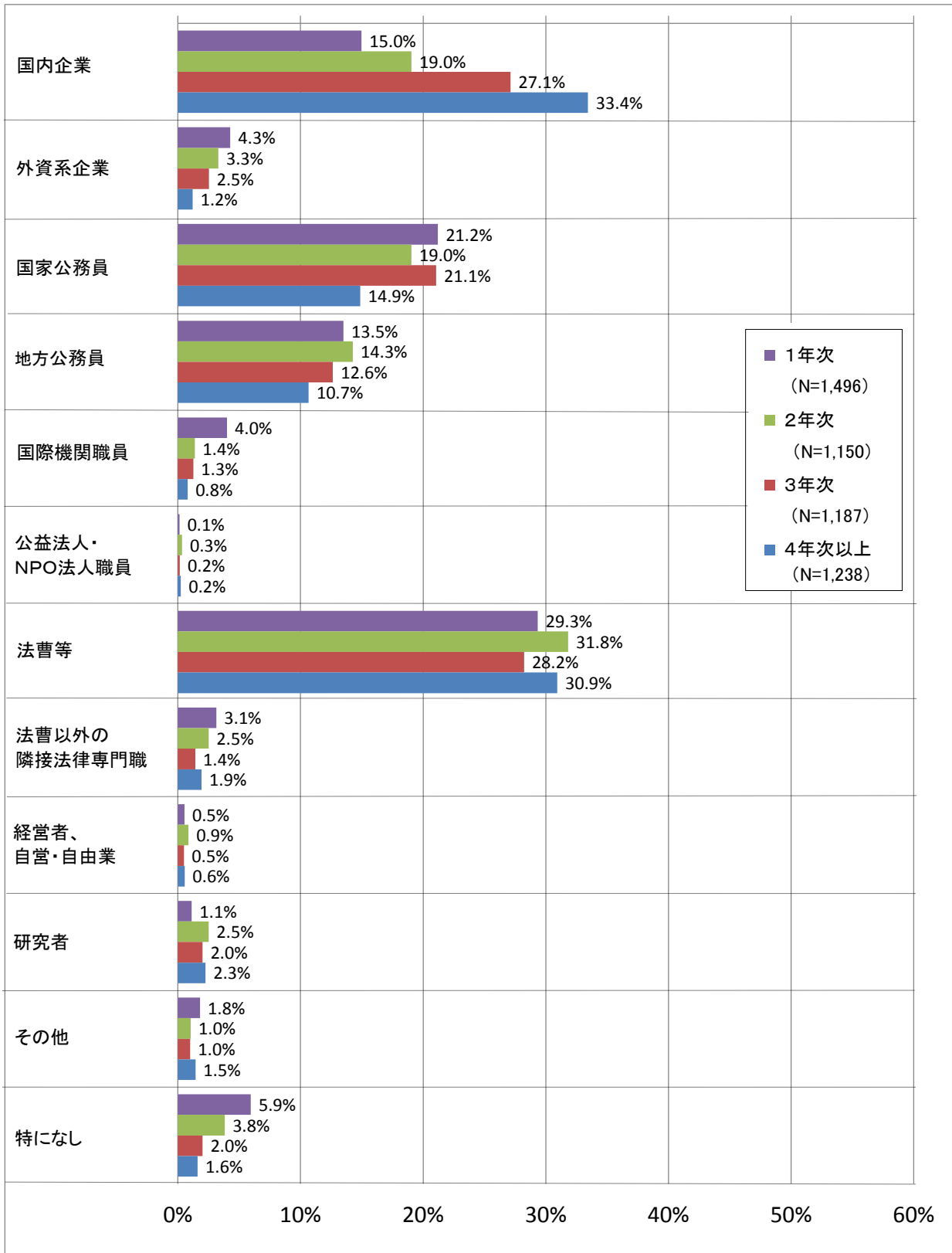


(参考) 学年別内訳

(単位: 人)

	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	国際機関職員	公益法人・NPO法人職員	法曹等	法曹以外の隣接法律専門職	経営者、自営・自由業	研究者	その他	特になし	合計
1年次	224	64	317	202	60	2	439	47	8	17	27	89	1,496
	15.0%	4.3%	21.2%	13.5%	4.0%	0.1%	29.3%	3.1%	0.5%	1.1%	1.8%	5.9%	100.0%
2年次	219	38	219	164	16	4	366	29	10	29	12	44	1,150
	19.0%	3.3%	19.0%	14.3%	1.4%	0.3%	31.8%	2.5%	0.9%	2.5%	1.0%	3.8%	100.0%
3年次	322	30	250	150	15	2	335	17	6	24	12	24	1,187
	27.1%	2.5%	21.1%	12.6%	1.3%	0.2%	28.2%	1.4%	0.5%	2.0%	1.0%	2.0%	100.0%
4年次以上	414	15	184	132	10	3	383	24	7	28	18	20	1,238
	33.4%	1.2%	14.9%	10.7%	0.8%	0.2%	30.9%	1.9%	0.6%	2.3%	1.5%	1.6%	100.0%
回答数	1,179	147	970	648	101	11	1,523	117	31	98	69	177	5,071
割合	23.2%	2.9%	19.1%	12.8%	2.0%	0.2%	30.0%	2.3%	0.6%	1.9%	1.4%	3.5%	100.0%

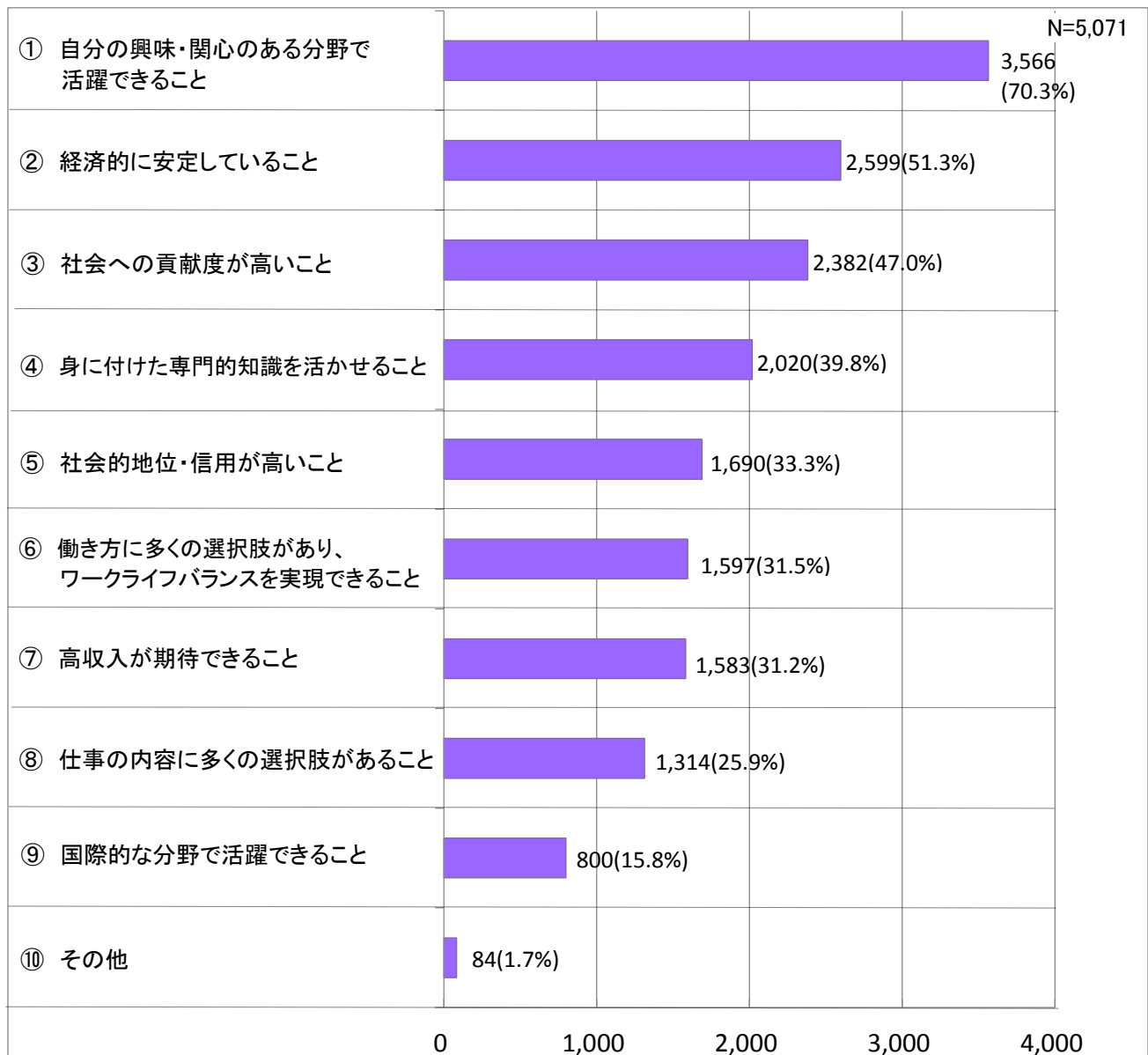




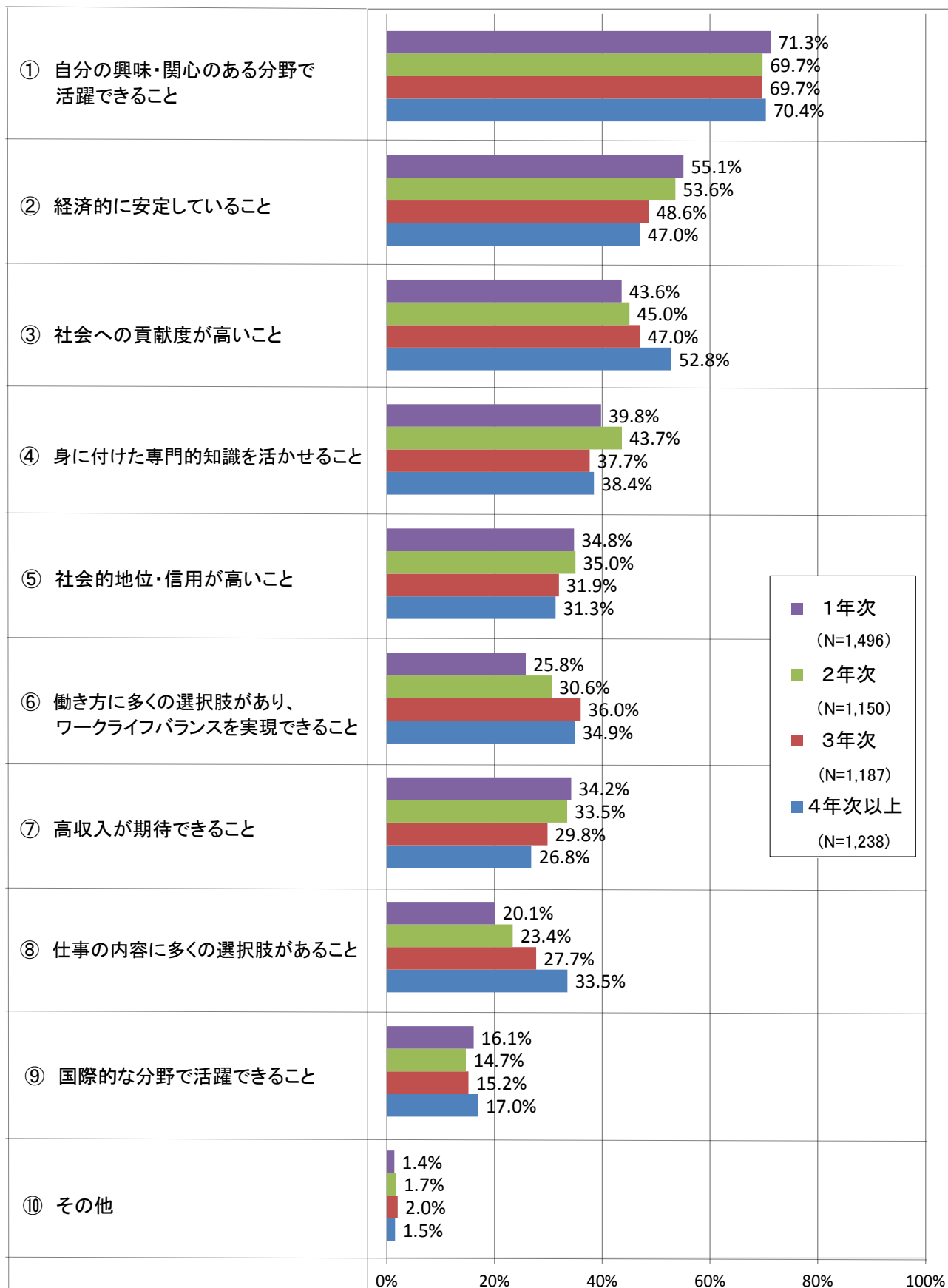
2 職業選択に当たり重視すること(複数選択可)

(単位:人)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	経済的に安定していること	社会への貢献度が高いこと	身に付けた専門的知識を活かせること	社会的地位・信用が高いこと	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること	高収入が期待できること	仕事の内容に多くの選択肢があること	国際的な分野で活躍できること	その他
1年次	1,066 71.3%	824 55.1%	652 43.6%	595 39.8%	520 34.8%	386 25.8%	512 34.2%	301 20.1%	241 16.1%	21 1.4%
2年次	802 69.7%	616 53.6%	518 45.0%	502 43.7%	403 35.0%	352 30.6%	385 33.5%	269 23.4%	169 14.7%	20 1.7%
3年次	827 69.7%	577 48.6%	558 47.0%	447 37.7%	379 31.9%	427 36.0%	354 29.8%	329 27.7%	180 15.2%	24 2.0%
4年次以上	871 70.4%	582 47.0%	654 52.8%	476 38.4%	388 31.3%	432 34.9%	332 26.8%	415 33.5%	210 17.0%	19 1.5%
回答数	3,566	2,599	2,382	2,020	1,690	1,597	1,583	1,314	800	84
割合	70.3%	51.3%	47.0%	39.8%	33.3%	31.5%	31.2%	25.9%	15.8%	1.7%



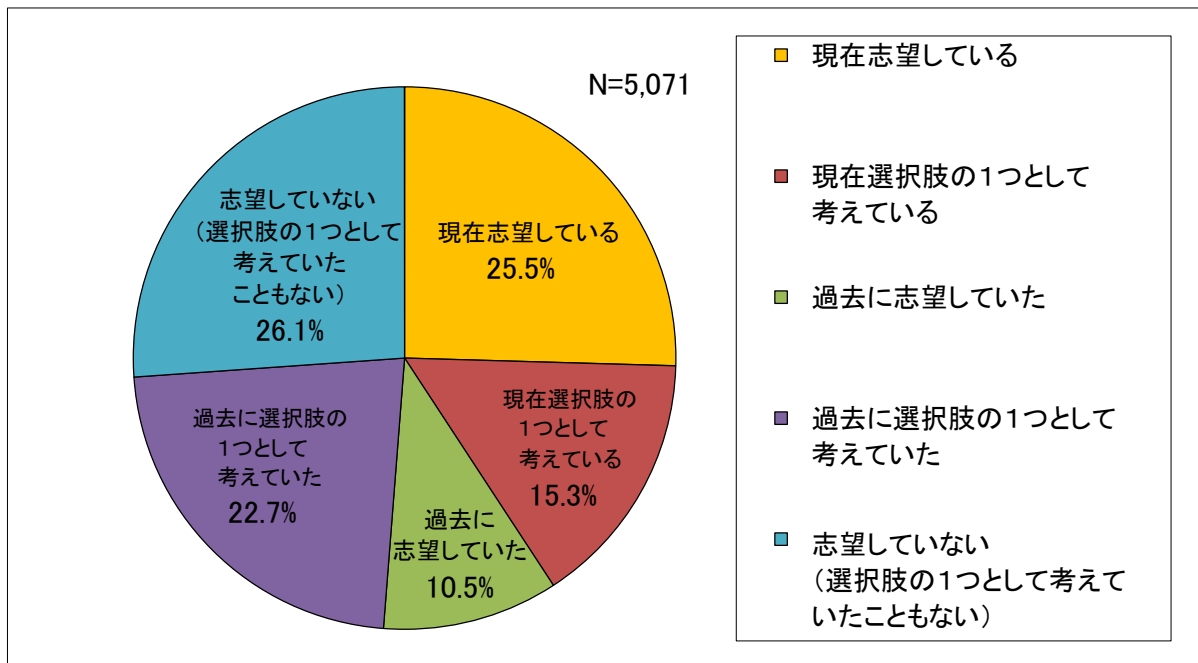
(参考)学年別内訳



3 法曹等志望の有無

(単位:人)

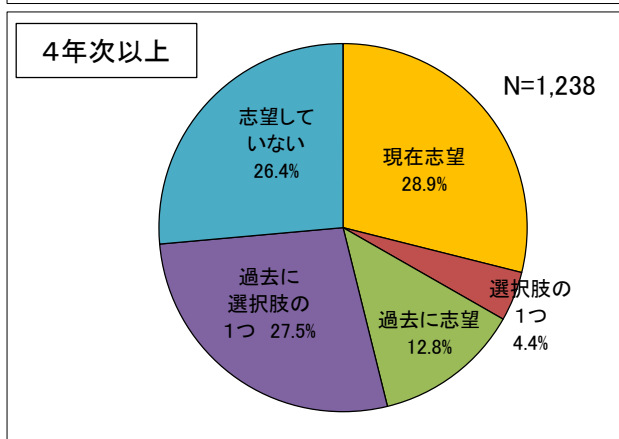
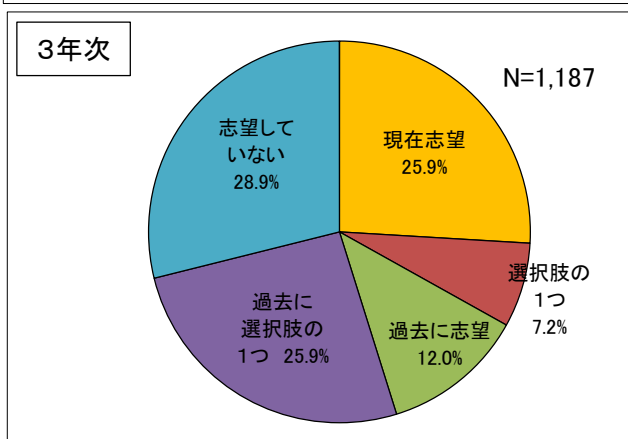
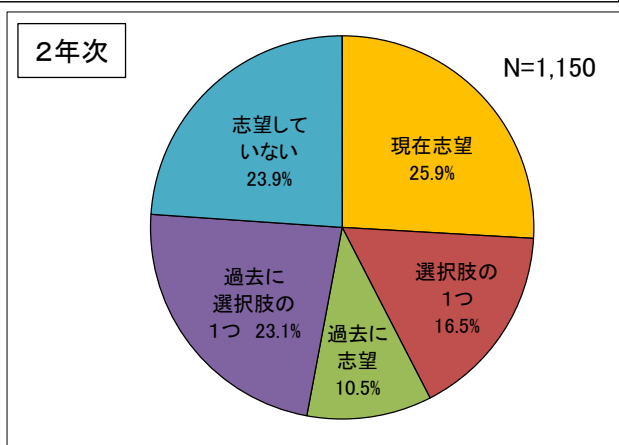
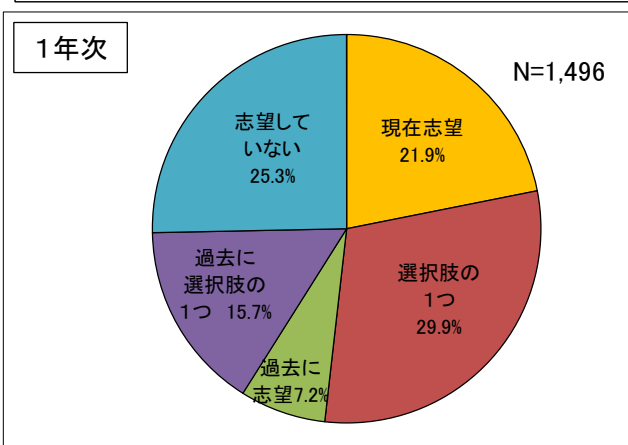
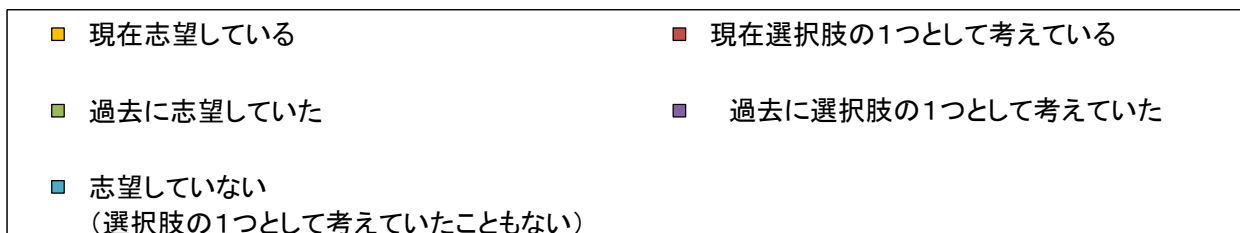
	現在志望している	現在選択肢の1つとして考えている	過去に志望していた	過去に選択肢の1つとして考えていた	志望していない (選択肢の1つとして考えていたこともない)	合計
回答数	1,291	777	530	1,149	1,324	5,071
割合	25.5%	15.3%	10.5%	22.7%	26.1%	100.0%



(参考)学年別内訳

(単位:人)

	現在志望 している	現在選択肢 の1つとして 考えている	過去に志望 していた	過去に選択肢 の1つとして 考えていた	志望していない (選択肢の1つと して考えていた こともない)	合計
1年次	327 21.9%	448 29.9%	107 7.2%	235 15.7%	379 25.3%	1,496 100%
2年次	298 25.9%	190 16.5%	121 10.5%	266 23.1%	275 23.9%	1,150 100%
3年次	308 25.9%	85 7.2%	143 12.0%	308 25.9%	343 28.9%	1,187 100%
4年次以上	358 28.9%	54 4.4%	159 12.8%	340 27.5%	327 26.4%	1,238 100%
回答数	1,291	777	530	1,149	1,324	5,071
割合	25.5%	15.3%	10.5%	22.7%	26.1%	100.0%



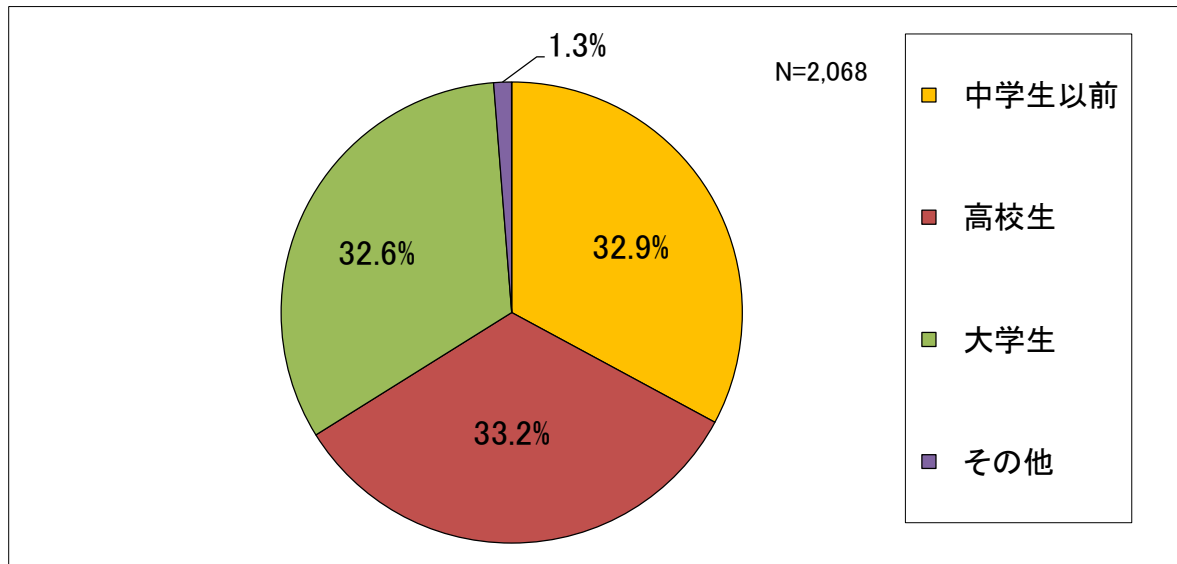
第3 法曹等志望の時期・進路・契機、法曹の魅力等(志望者別)

1 法曹等を志望した時期

(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

(単位:人)

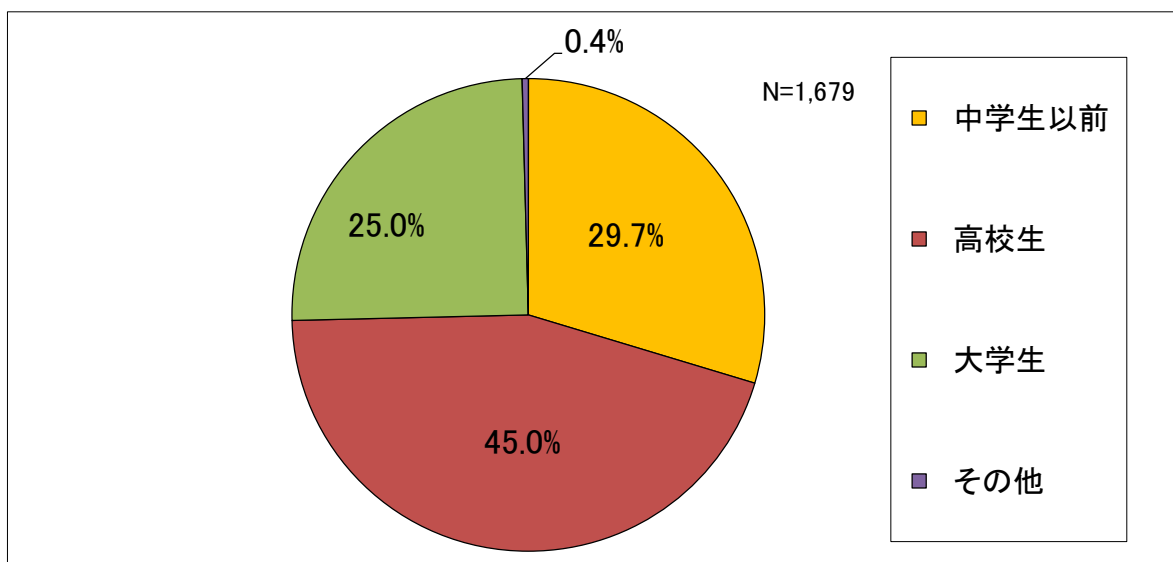
	中学生以前	高校生	大学生	その他	合計
回答数	680	687	675	26	2,068
割合	32.9%	33.2%	32.6%	1.3%	100.0%



(2) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

(単位:人)

	中学生以前	高校生	大学生	その他	合計
回答数	498	755	419	7	1,679
割合	29.7%	45.0%	25.0%	0.4%	100.0%

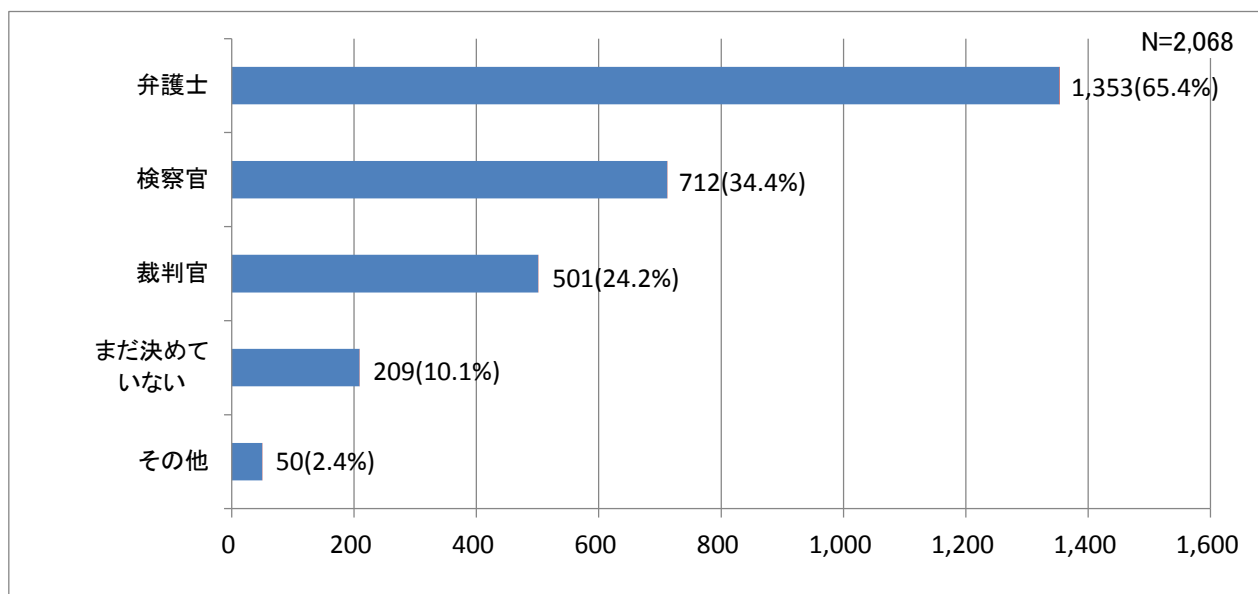


2 法曹としての進路(複数選択可)

(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

(単位:人)

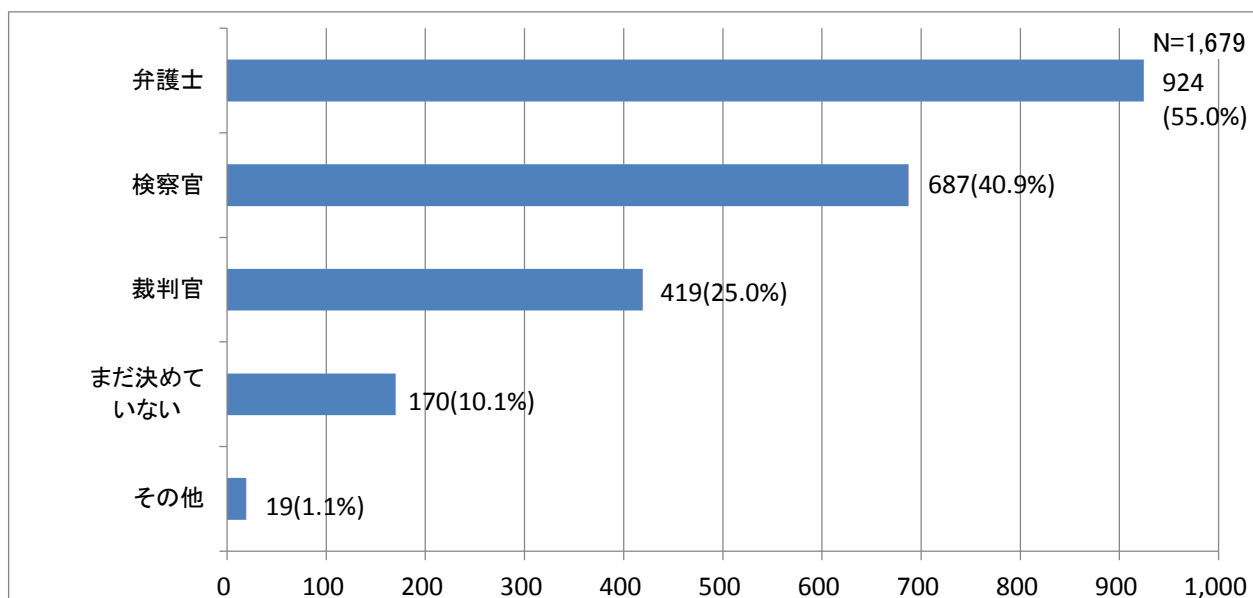
	弁護士	検察官	裁判官	まだ決めていない	その他
回答数	1,353	712	501	209	50
割合	65.4%	34.4%	24.2%	10.1%	2.4%



(2) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

(単位:人)

	弁護士	検察官	裁判官	まだ決めていない	その他
回答数	924	687	419	170	19
割合	55.0%	40.9%	25.0%	10.1%	1.1%

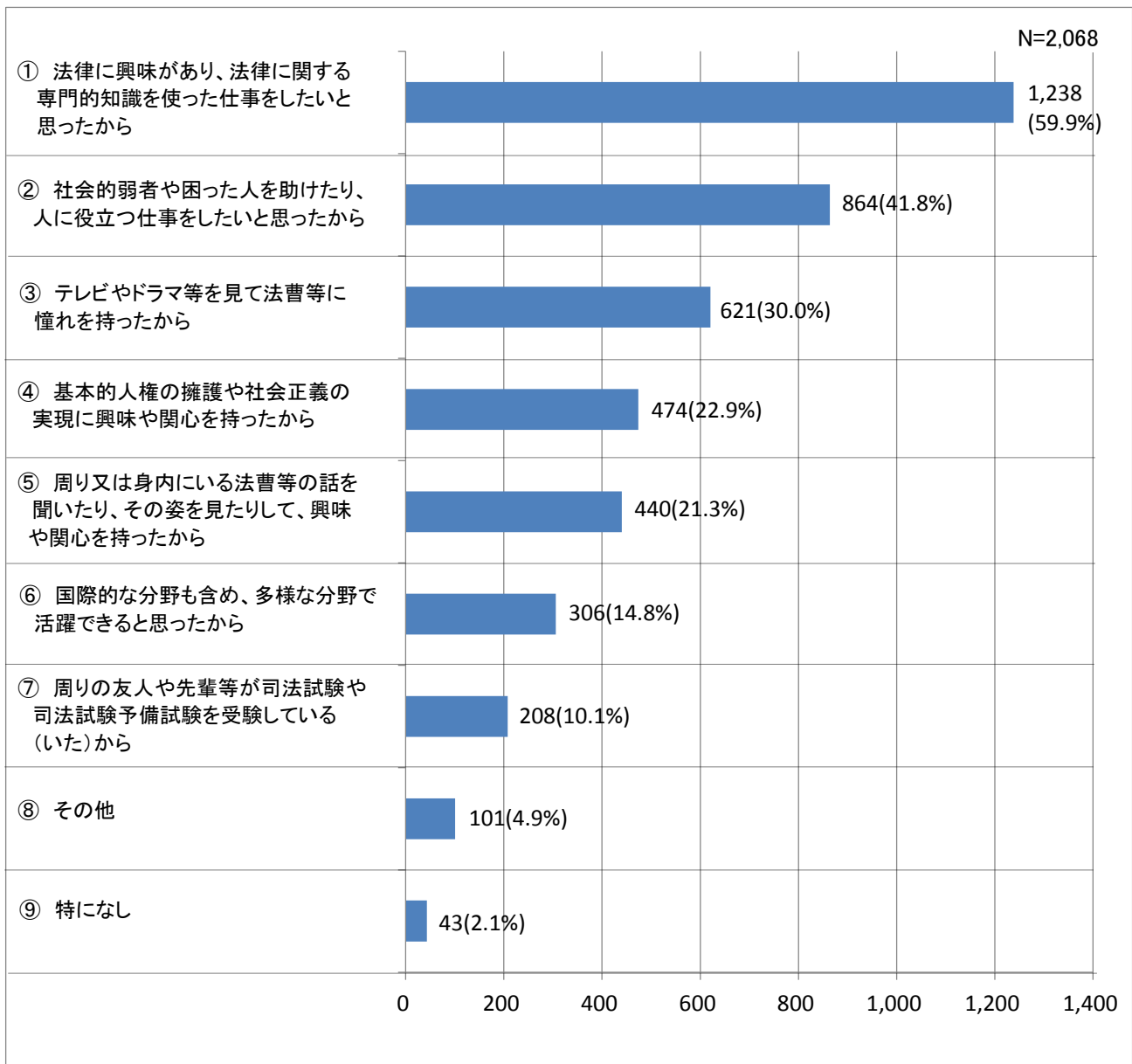


3 法曹等志望の契機(複数選択可)

(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

(単位:人)

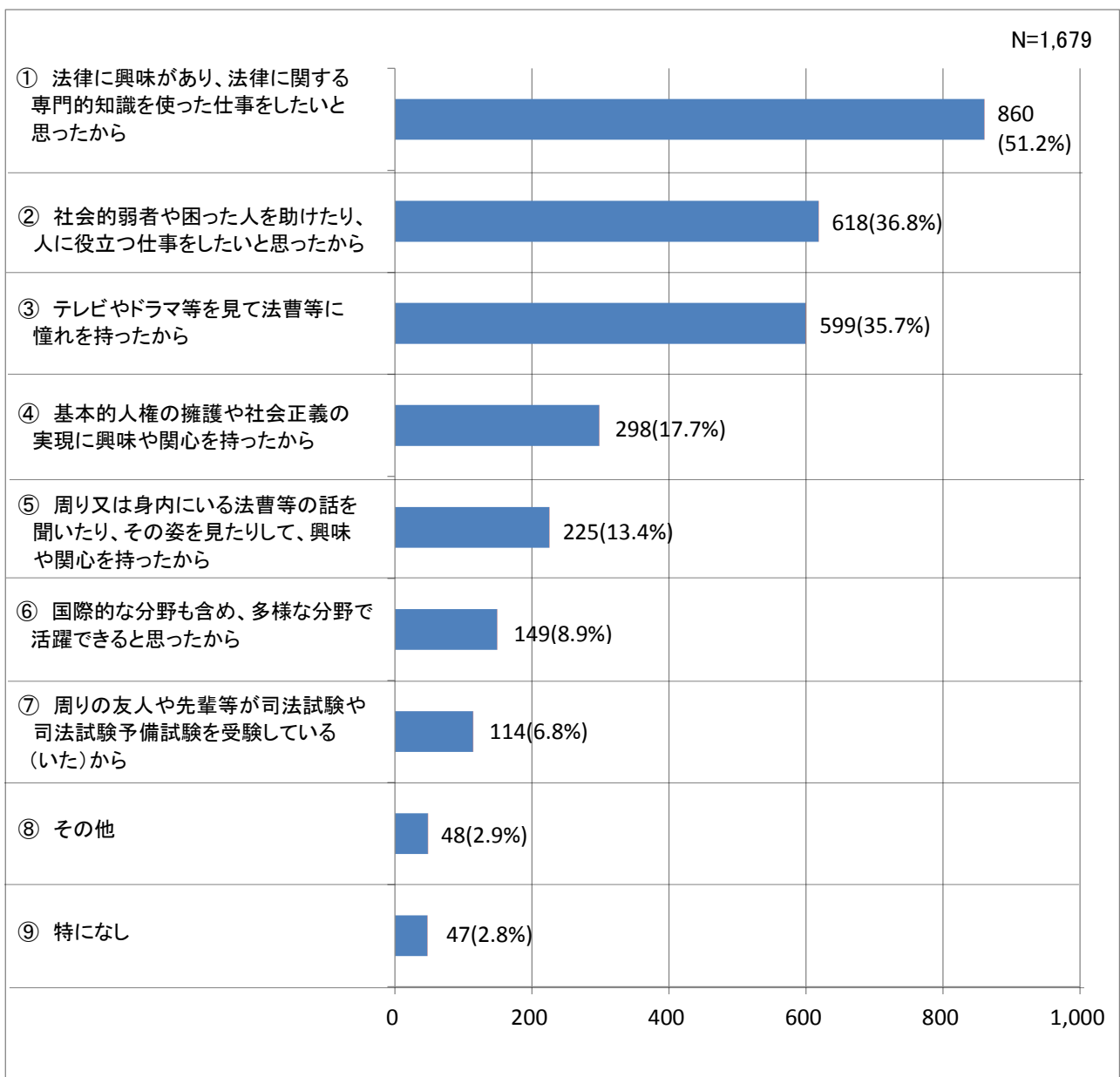
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困った人を助けたり、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし
回答数	1,238	864	621	474	440	306	208	101	43
割合	59.9%	41.8%	30.0%	22.9%	21.3%	14.8%	10.1%	4.9%	2.1%



(2) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

(単位:人)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困った人を助けたり、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし
回答数	860	618	599	298	225	149	114	48	47
割合	51.2%	36.8%	35.7%	17.7%	13.4%	8.9%	6.8%	2.9%	2.8%

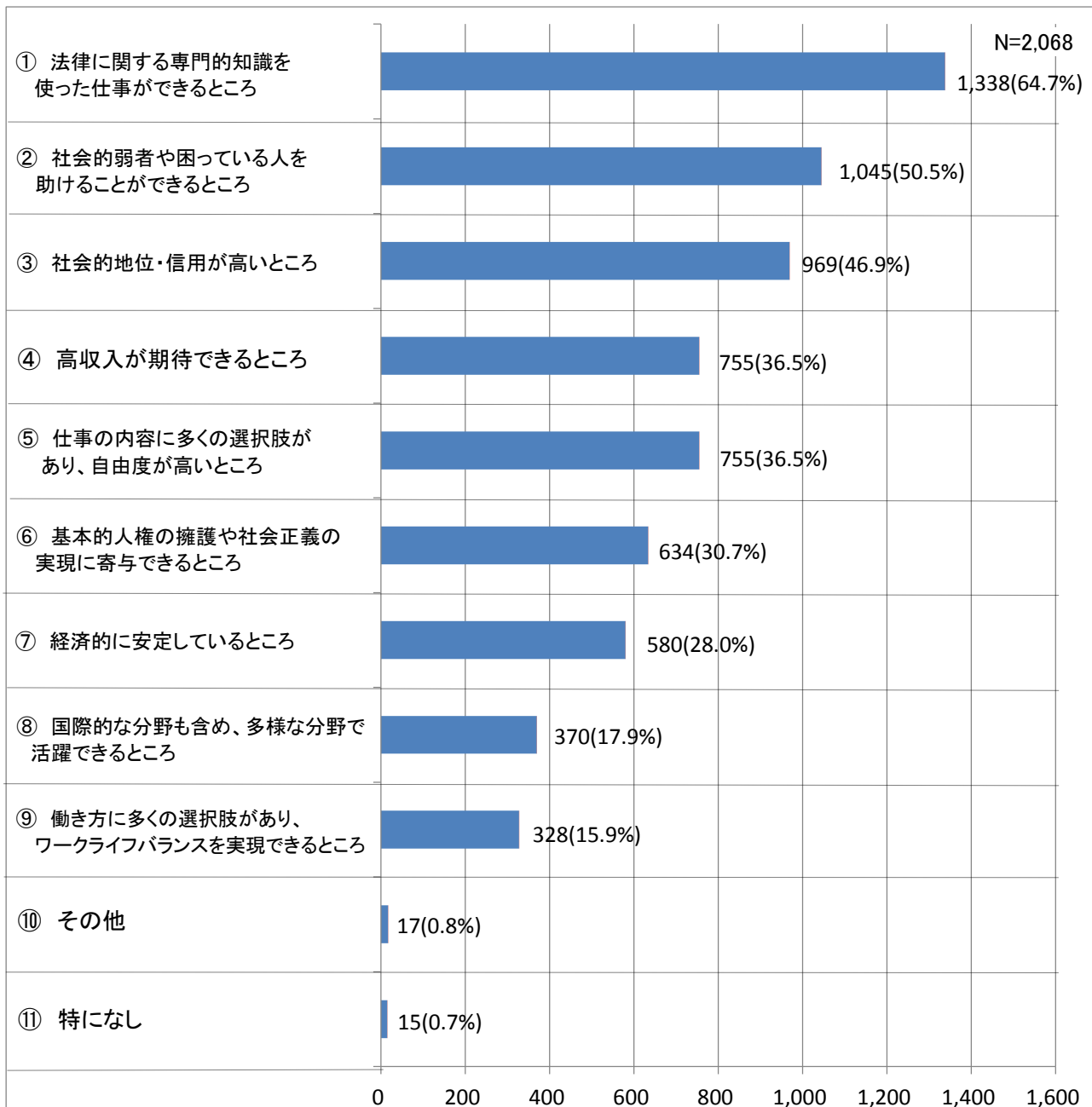


4 法曹等の魅力(複数選択可)

(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

(単位:人)

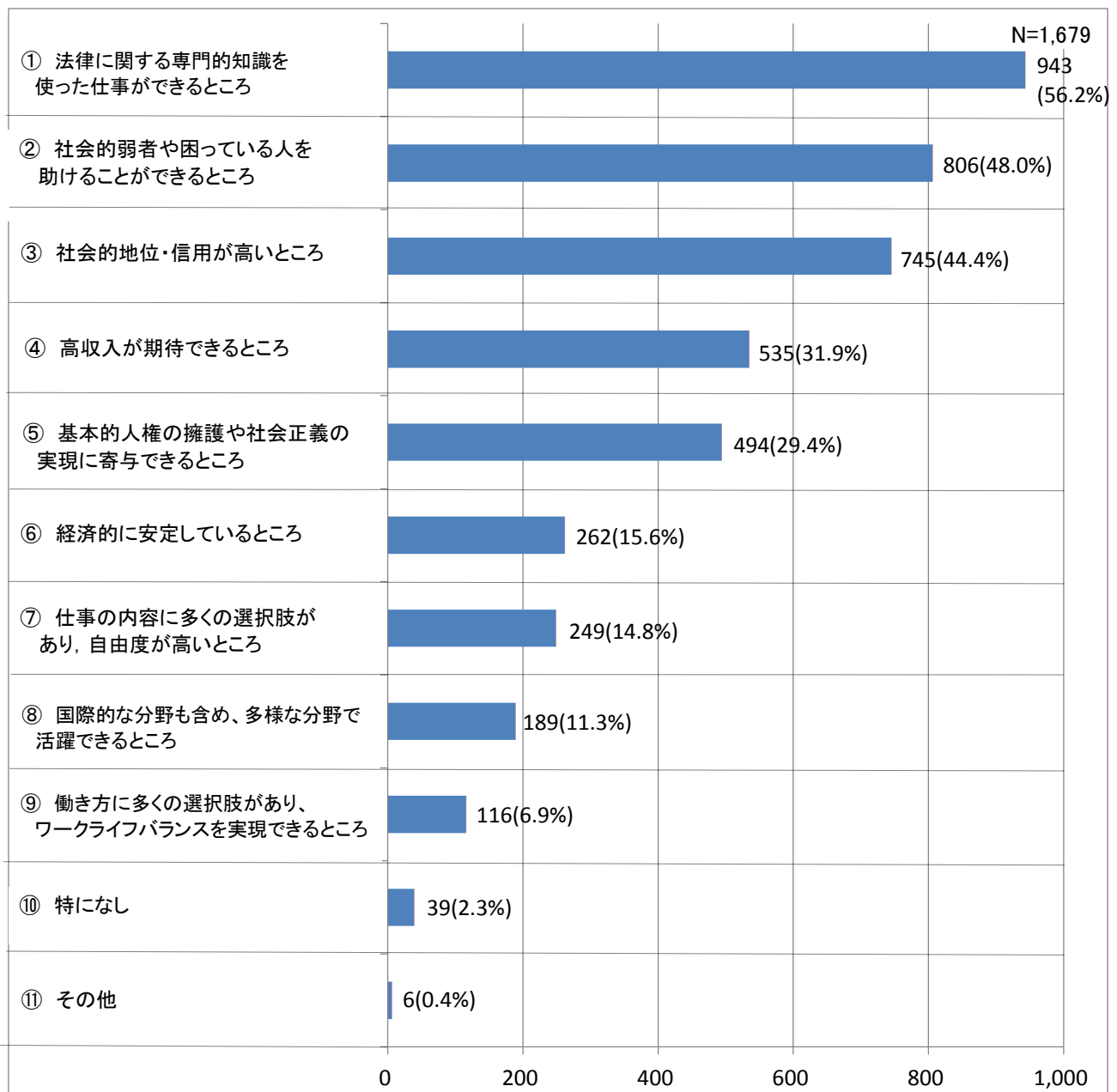
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	経済的に安定しているところ	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	その他	特になし
回答数	1,338	1,045	969	755	755	634	580	370	328	17	15
割合	64.7%	50.5%	46.9%	36.5%	36.5%	30.7%	28.0%	17.9%	15.9%	0.8%	0.7%



(2) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

(単位:人)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	経済的に安定しているところ	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	特になし	その他
回答数	943	806	745	535	494	262	249	189	116	39	6
割合	56.2%	48.0%	44.4%	31.9%	29.4%	15.6%	14.8%	11.3%	6.9%	2.3%	0.4%



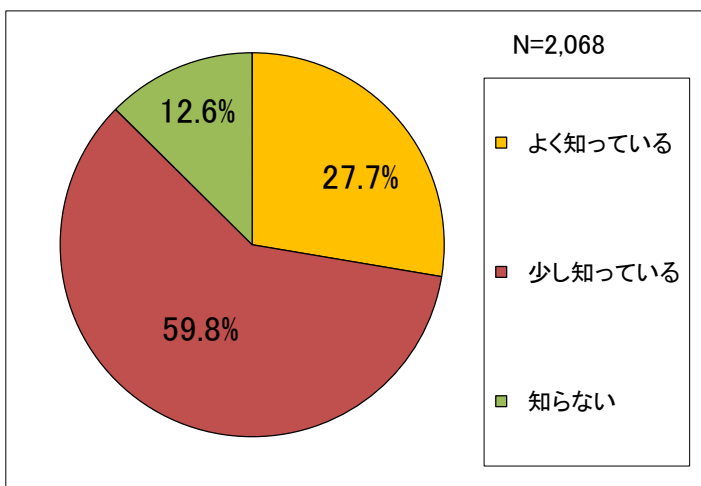
5 法曹有資格者の活動領域の拡大

(1) 法曹等の活動領域が拡大していることに対する現状認識

ア 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

(単位:人)

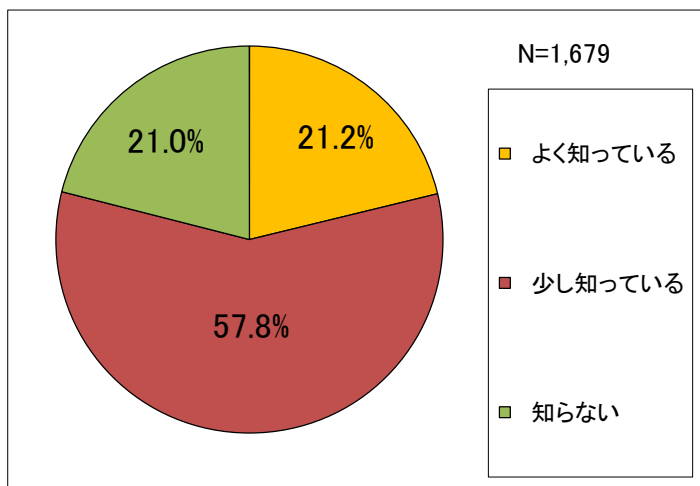
	よく 知って いる	少し 知って いる	知らない	合計
回答数	572	1,236	260	2,068
割合	27.7%	59.8%	12.6%	100.0%



イ 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

(単位:人)

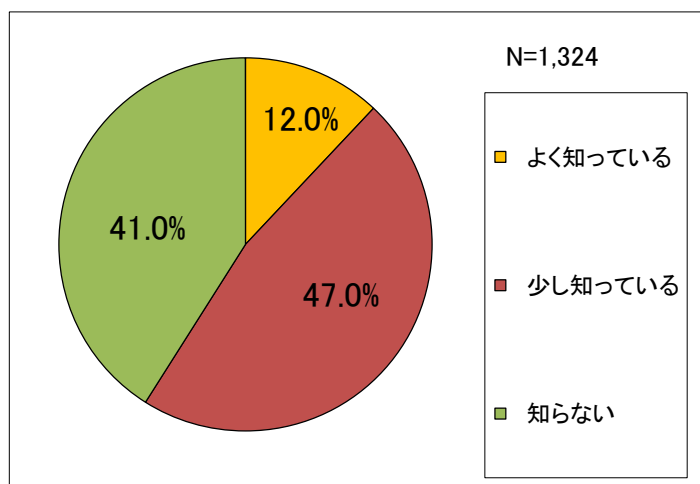
	よく 知って いる	少し 知って いる	知らない	合計
回答数	356	970	353	1,679
割合	21.2%	57.8%	21.0%	100.0%



ウ 法曹等を選択肢の1つとして考えていたこともない学生

(単位:人)

	よく 知って いる	少し 知って いる	知らない	合計
回答数	159	622	543	1,324
割合	12.0%	47.0%	41.0%	100.0%

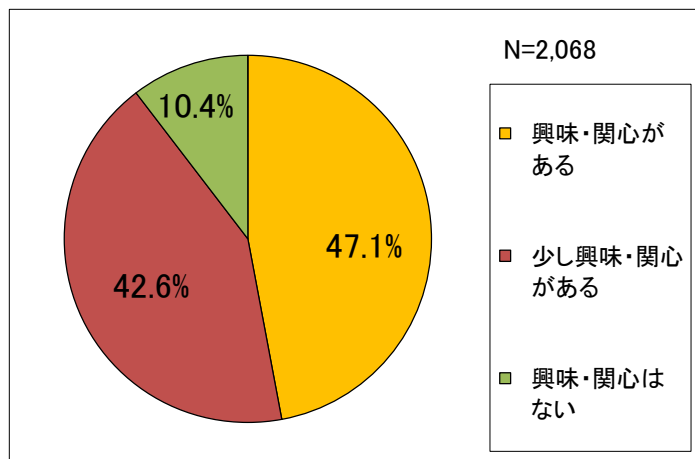


(2) 法曹等の活動領域が拡大している分野(海外、企業、国・自治体等)で働くことに対する興味・関心の有無

ア 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

(単位:人)

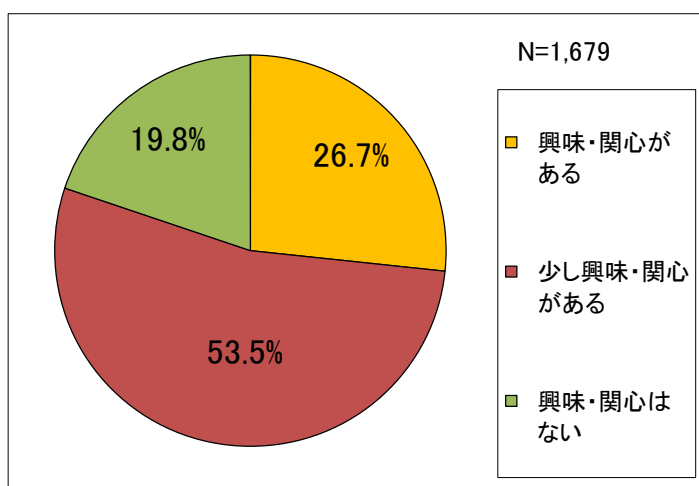
	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	合計
回答数	973	880	215	2,068
割合	47.1%	42.6%	10.4%	100.0%



イ 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

(単位:人)

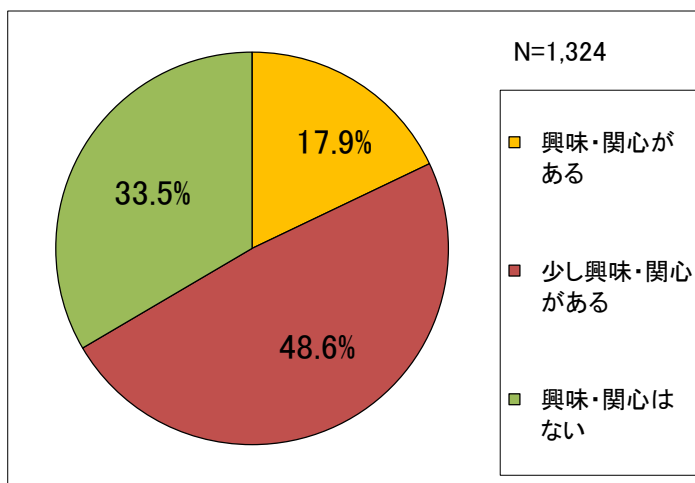
	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	合計
回答数	448	898	333	1,679
割合	26.7%	53.5%	19.8%	100.0%



ウ 法曹等を選択肢の1つとして考えていたこともない学生

(単位:人)

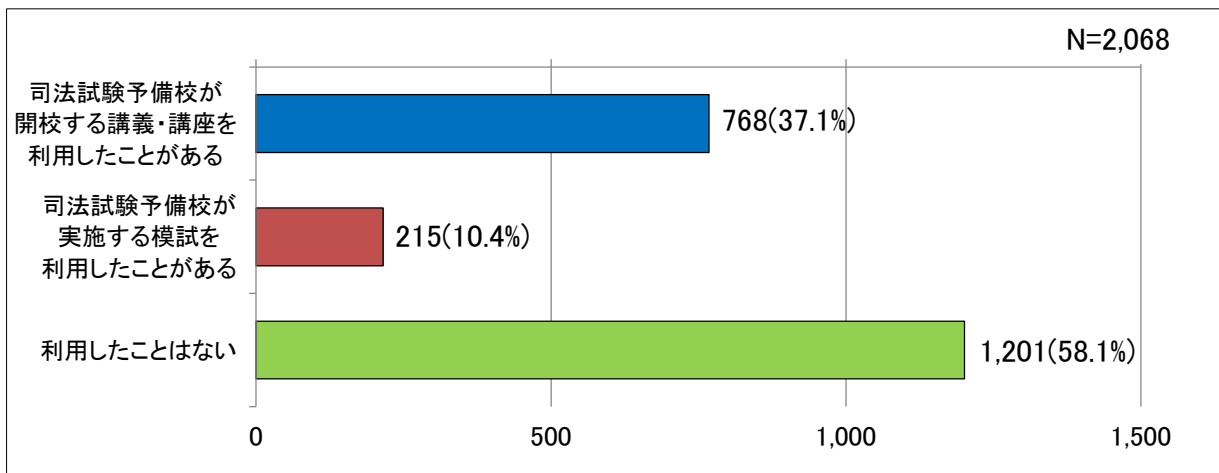
	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	合計
回答数	237	644	443	1,324
割合	17.9%	48.6%	33.5%	100.0%



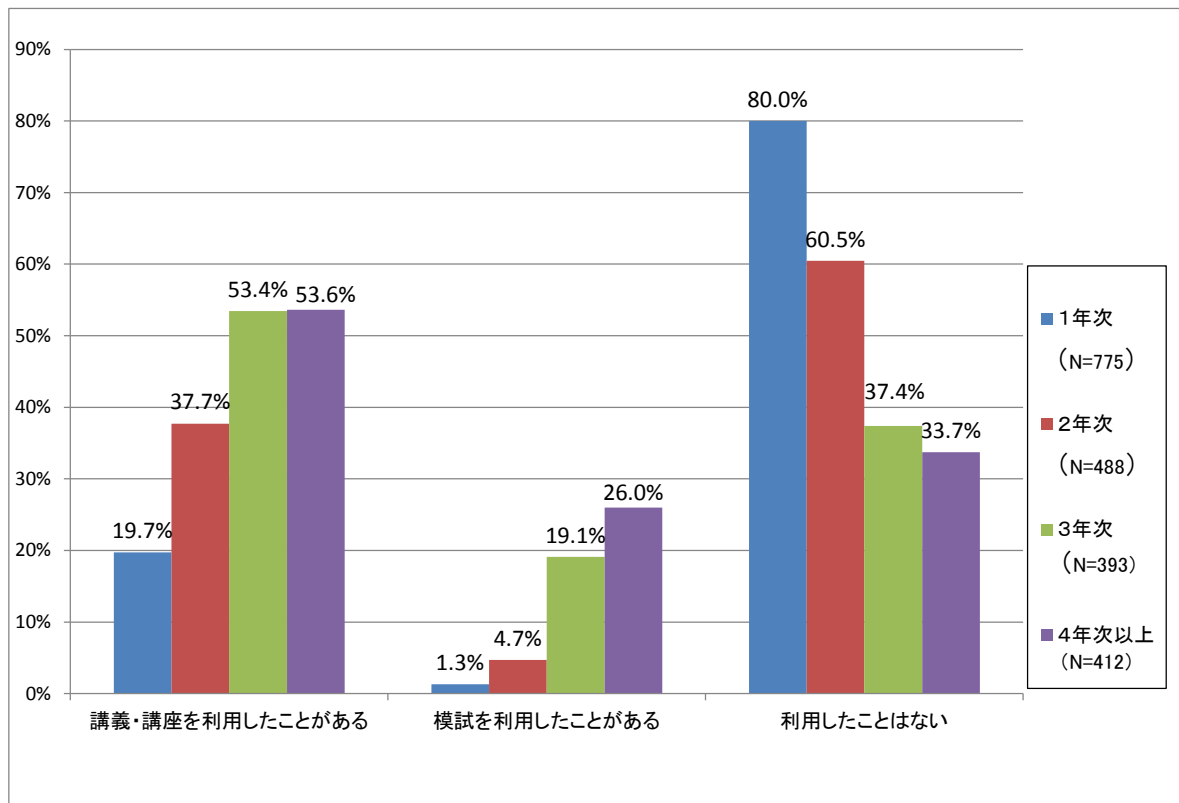
6 司法試験予備校の利用の有無(現在志望・選択肢の1つとして考えている学生のみ回答(複数選択可))

(単位:人)

	司法試験予備校が 開校する講義・講座を 利用したことがある	司法試験予備校が 実施する模試を 利用したことがある	利用したことは ない
1年次	153 19.7%	10 1.3%	620 80.0%
2年次	184 37.7%	23 4.7%	295 60.5%
3年次	210 53.4%	75 19.1%	147 37.4%
4年次以上	221 53.6%	107 26.0%	139 33.7%
回答数	768	215	1,201
割合	37.1%	10.4%	58.1%



(参考) 学年別内訳

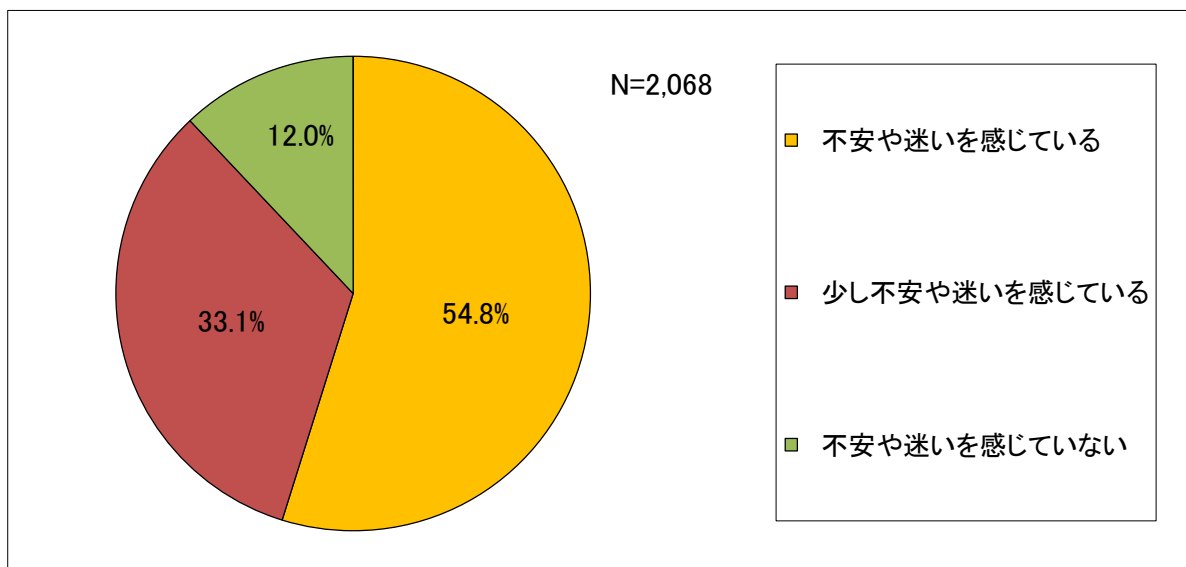


7 法曹志望に当たっての不安や迷い、断念の理由等

- (1) 法曹等を志望するに当たっての不安や迷いについて
(現在志望・選択肢の1つとして考えている学生のみ回答)

(単位:人)

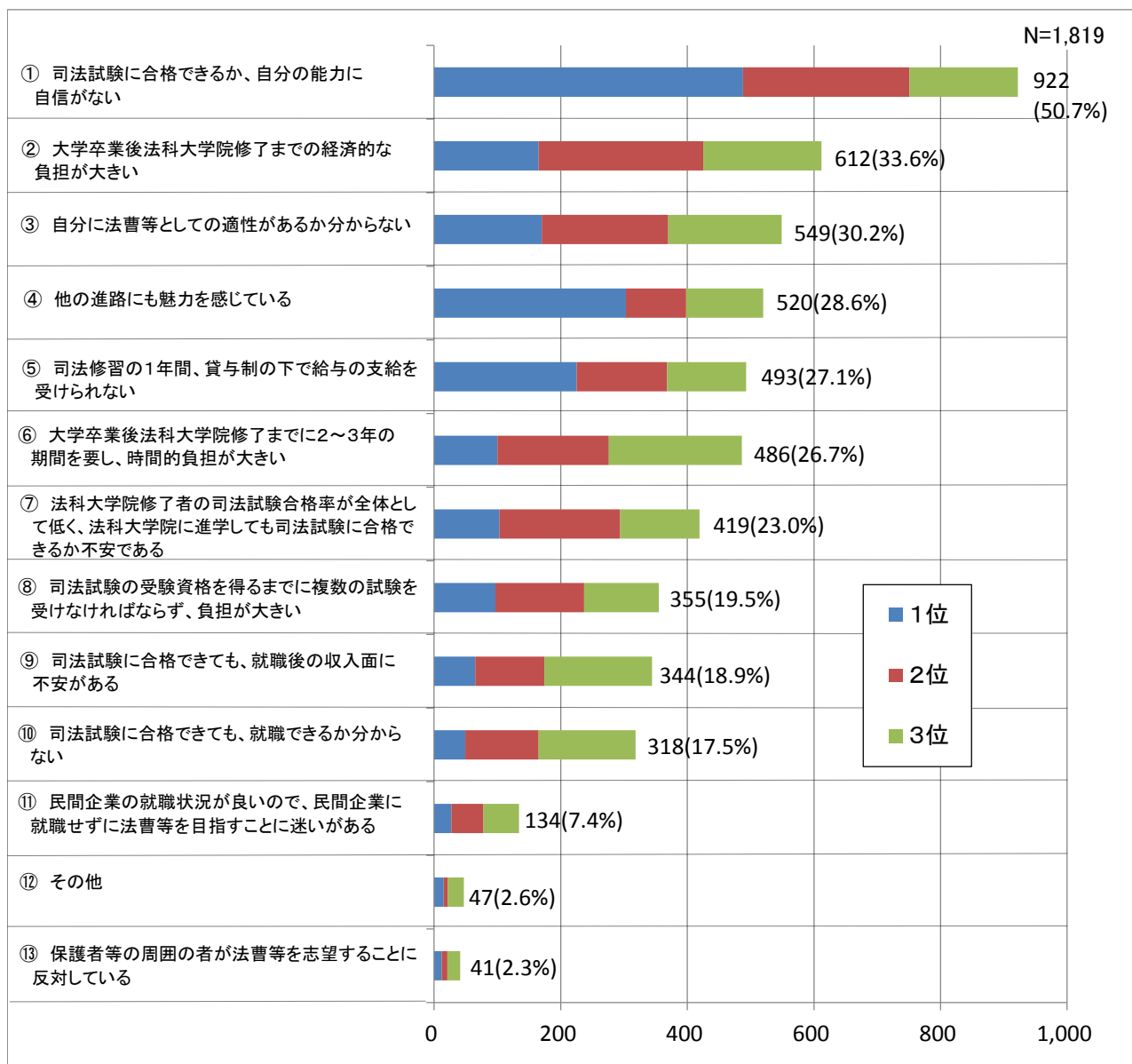
	不安や迷いを 感じている	少し不安や迷いを 感じている	不安や迷いを 感じていない	合計
回答数	1,134	685	249	2,068
割合	54.8%	33.1%	12.0%	100.0%



(2) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生の不安や迷い(上位3つまで選択可)

(単位:人)

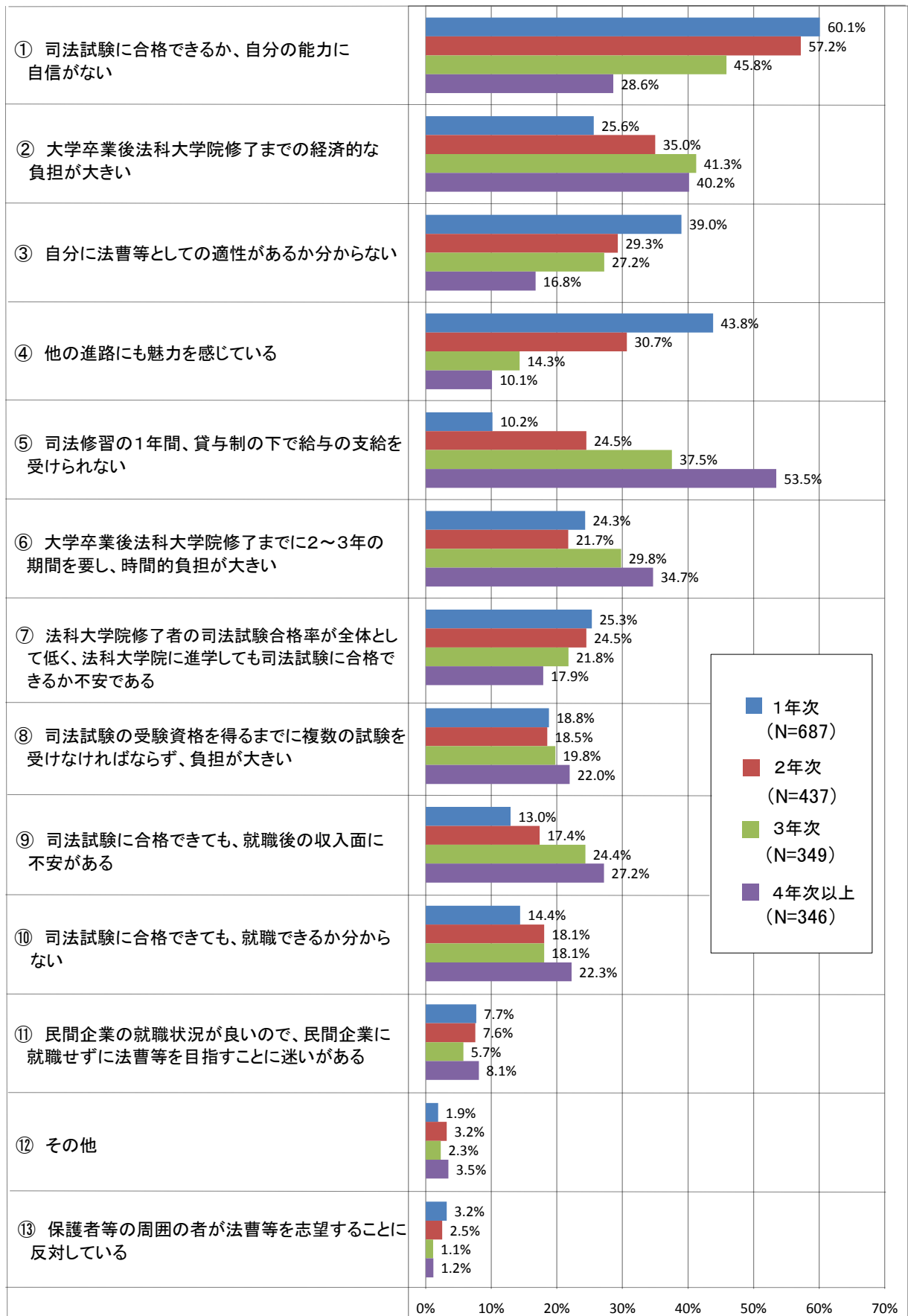
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	—
	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	自分に法曹等としての適性があるか分からない	他の進路にも魅力を感じている	司法修習の1年間、貸与制の下で給与の支給を受けられない	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きい	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある	司法試験に合格できても、就職できるか分からない	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがある	その他	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している	選択なし
1位	488	165	170	303	225	100	103	97	65	49	27	15	12	0
2位	263	260	200	95	143	176	191	140	109	116	51	7	9	59
3位	171	187	179	122	125	210	125	118	170	153	56	25	20	158
回答数	922	612	549	520	493	486	419	355	344	318	134	47	41	—
割合	50.7%	33.6%	30.2%	28.6%	27.1%	26.7%	23.0%	19.5%	18.9%	17.5%	7.4%	2.6%	2.3%	—



(参考)学年別内訳

(単位:人)

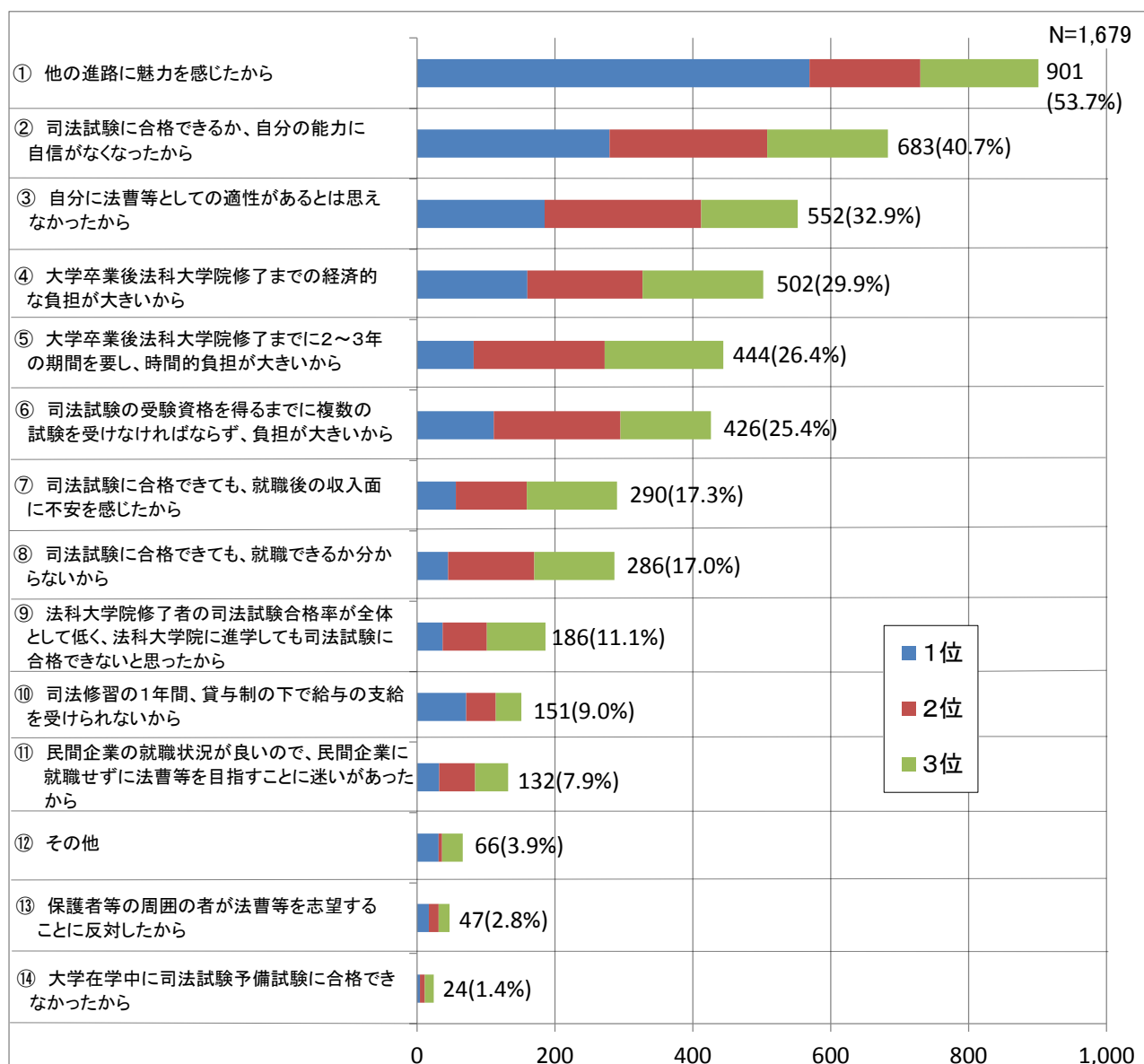
				①				②				③				④			
				司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない				大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい				自分に法曹等としての適性があるか分からない				他の進路にも魅力を感じている			
1位	488	1年次	207	165	1年次	45	170	1年次	78	303	1年次	183							
		2年次	142		2年次	36		2年次	40		2年次	70							
		3年次	87		3年次	42		3年次	29		3年次	29							
		4年次以上	52		4年次以上	42		4年次以上	23		4年次以上	21							
2位	263	1年次	132	260	1年次	64	200	1年次	99	95	1年次	53							
		2年次	61		2年次	71		2年次	51		2年次	31							
		3年次	41		3年次	65		3年次	33		3年次	7							
		4年次以上	29		4年次以上	60		4年次以上	17		4年次以上	4							
3位	171	1年次	74	187	1年次	67	179	1年次	91	122	1年次	65							
		2年次	47		2年次	46		2年次	37		2年次	33							
		3年次	32		3年次	37		3年次	33		3年次	14							
		4年次以上	18		4年次以上	37		4年次以上	18		4年次以上	10							
				⑤				⑥				⑦				⑧			
				司法修習の1年間、貸与制の下で給与の支給を受けられない				大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きい				法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である				司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きい			
1位	225	1年次	21	100	1年次	37	103	1年次	43	97	1年次	29							
		2年次	48		2年次	19		2年次	24		2年次	21							
		3年次	66		3年次	20		3年次	19		3年次	18							
		4年次以上	90		4年次以上	24		4年次以上	17		4年次以上	29							
2位	143	1年次	26	176	1年次	56	191	1年次	72	140	1年次	58							
		2年次	31		2年次	39		2年次	48		2年次	26							
		3年次	27		3年次	38		3年次	39		3年次	32							
		4年次以上	59		4年次以上	43		4年次以上	32		4年次以上	24							
3位	125	1年次	23	210	1年次	74	125	1年次	59	118	1年次	42							
		2年次	28		2年次	37		2年次	35		2年次	34							
		3年次	38		3年次	46		3年次	18		3年次	19							
		4年次以上	36		4年次以上	53		4年次以上	13		4年次以上	23							
				⑨				⑩				⑪				⑫			
				司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある				司法試験に合格できても、就職できるか分からない				民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがある				その他			
1位	65	1年次	10	49	1年次	17	27	1年次	11	15	1年次	2							
		2年次	10		2年次	9		2年次	7		2年次	5							
		3年次	18		3年次	11		3年次	4		3年次	4							
		4年次以上	27		4年次以上	12		4年次以上	5		4年次以上	4							
2位	109	1年次	31	116	1年次	34	51	1年次	25	7	1年次	3							
		2年次	23		2年次	31		2年次	14		2年次	2							
		3年次	29		3年次	26		3年次	3		3年次	1							
		4年次以上	26		4年次以上	25		4年次以上	9		4年次以上	1							
3位	170	1年次	48	153	1年次	48	56	1年次	17	25	1年次	8							
		2年次	43		2年次	39		2年次	12		2年次	7							
		3年次	38		3年次	26		3年次	13		3年次	3							
		4年次以上	41		4年次以上	40		4年次以上	14		4年次以上	7							
				⑬															
				保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している															
1位	12	1年次	4																
		2年次	6																
		3年次	2																
		4年次以上	0																
2位	9	1年次	7																
		2年次	1																
		3年次	0																
		4年次以上	1																
3位	20	1年次	11																
		2年次	4																
		3年次	2																
		4年次以上	3																



(3) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生の不安や迷い(上位3つまで選択可)

(単位:人)

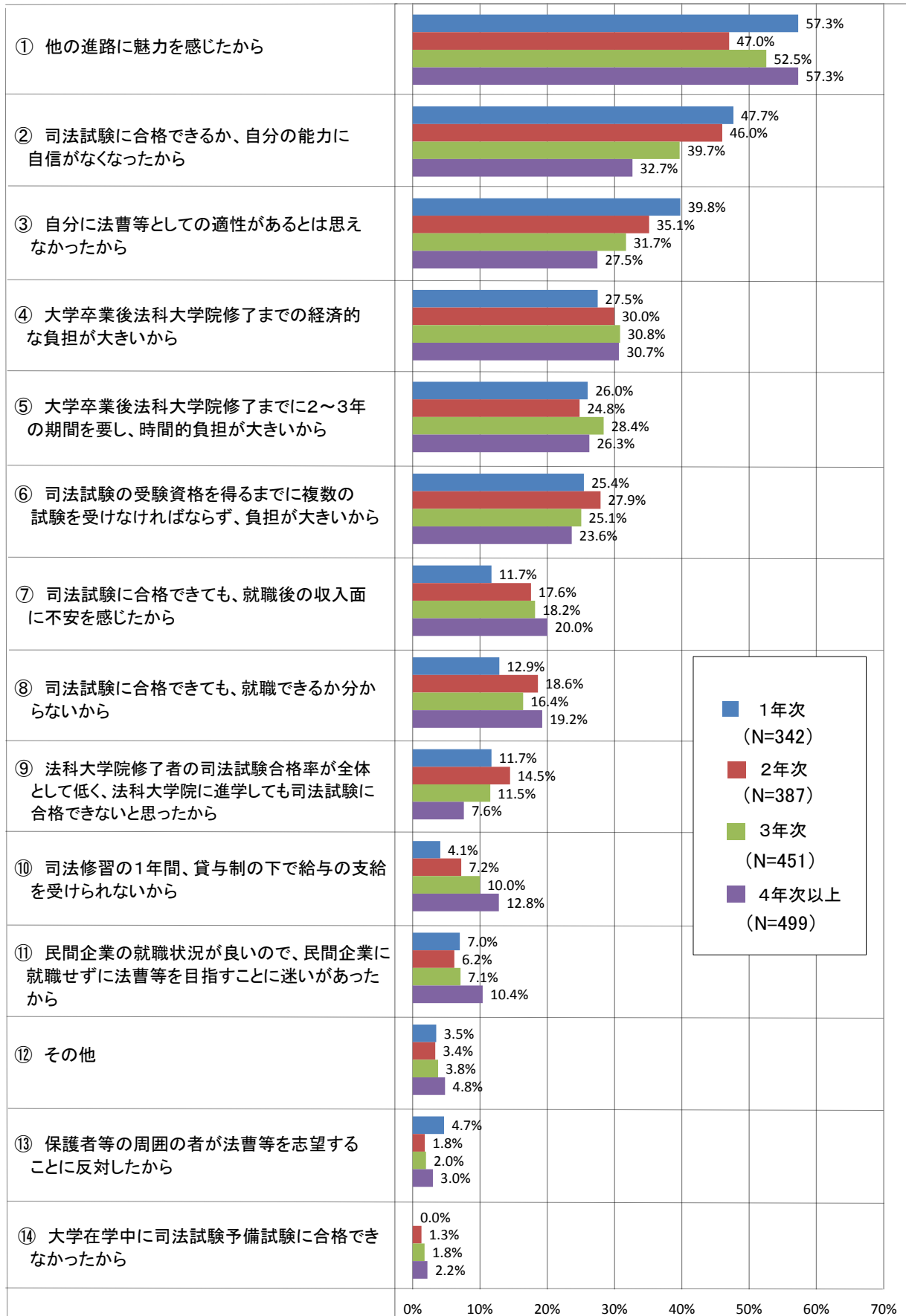
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	-
	他の進路に魅力を感じたから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから	自分に法曹としての適性があるとは思えなかったから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいため	大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きいため	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きいため	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	司法試験に合格できても、就職できるか分からないから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから	司法修習の1年間、貸与制の下で給与の支給を受けられないから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあったから	その他	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから	大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから	-
1位	569	279	185	160	82	111	56	45	37	71	32	31	17	4	0
2位	161	229	227	167	190	184	103	125	64	43	52	5	14	7	108
3位	171	175	140	175	172	131	131	116	85	37	48	30	16	13	239
回答数	901	683	552	502	444	426	290	286	186	151	132	66	47	24	-
割合	53.7%	40.7%	32.9%	29.9%	26.4%	25.4%	17.3%	17.0%	11.1%	9.0%	7.9%	3.9%	2.8%	1.4%	-



(参考)学年別内訳

(単位:人)

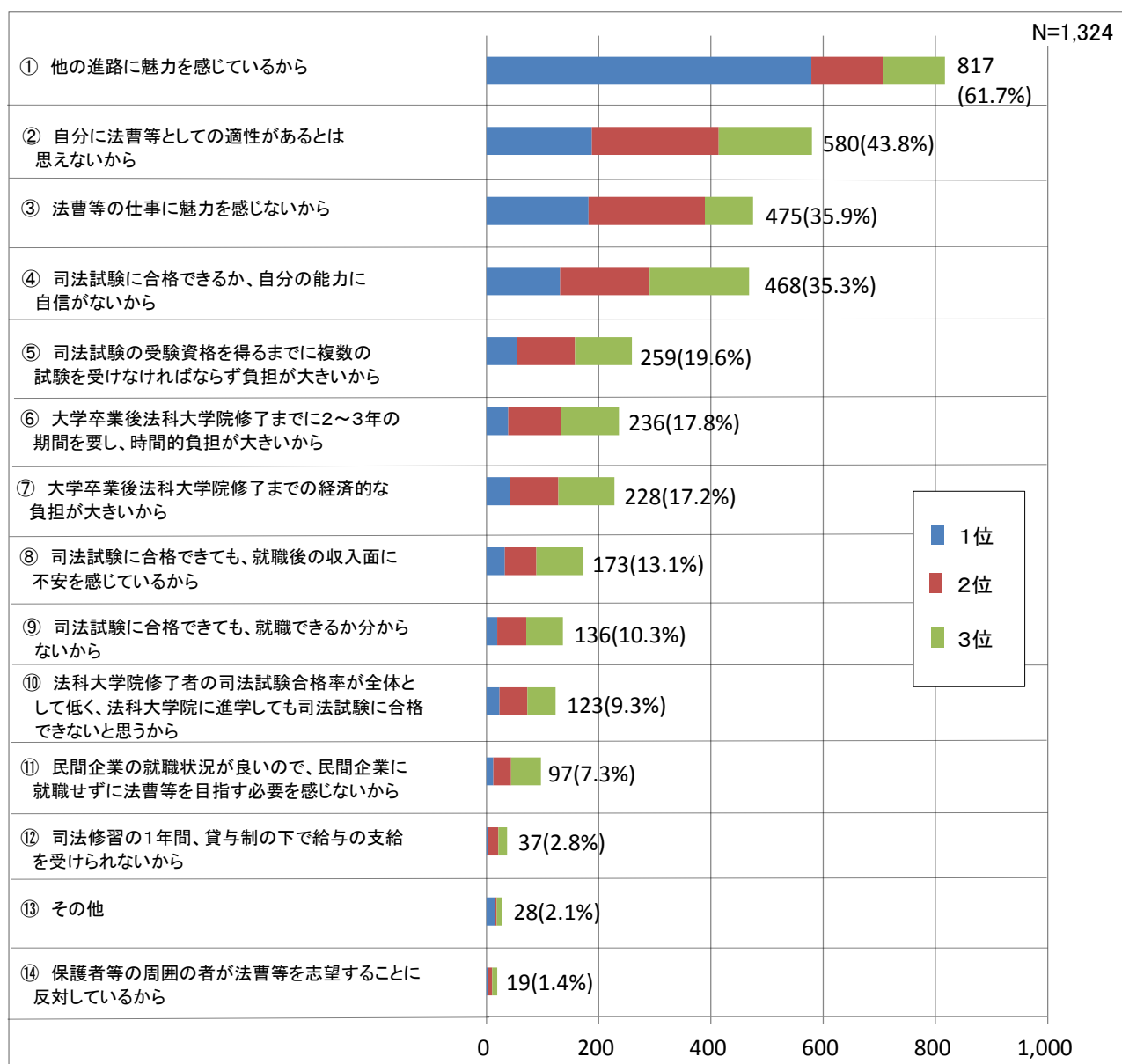
		①				②				③				④			
		他の進路に魅力を感じたから				司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから				自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから				大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいためから			
1位	569	1年次	121	279	1年次	72	185	1年次	42	160	1年次	27	279	1年次	27		
		2年次	124		2年次	71		2年次	41		2年次	44					
		3年次	146		3年次	75		3年次	55		3年次	40					
		4年次以上	178		4年次以上	61		4年次以上	47		4年次以上	49					
2位	161	1年次	32	229	1年次	55	227	1年次	59	167	1年次	32	229	1年次	32		
		2年次	22		2年次	61		2年次	65		2年次	32					
		3年次	52		3年次	60		3年次	47		3年次	50					
		4年次以上	55		4年次以上	53		4年次以上	56		4年次以上	53					
3位	171	1年次	43	175	1年次	36	140	1年次	35	175	1年次	35	175	1年次	35		
		2年次	36		2年次	46		2年次	30		2年次	40					
		3年次	39		3年次	44		3年次	41		3年次	49					
		4年次以上	53		4年次以上	49		4年次以上	34		4年次以上	51					
		⑤				⑥				⑦				⑧			
		大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいためから				司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きいためから				司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたためから				司法試験に合格できても、就職できるか分からないためから			
1位	82	1年次	13	111	1年次	21	56	1年次	8	45	1年次	7	111	1年次	7		
		2年次	19		2年次	28		2年次	18		2年次	9					
		3年次	24		3年次	27		3年次	9		3年次	13					
		4年次以上	26		4年次以上	35		4年次以上	21		4年次以上	16					
2位	190	1年次	40	184	1年次	33	103	1年次	15	125	1年次	21	184	1年次	21		
		2年次	36		2年次	44		2年次	24		2年次	35					
		3年次	57		3年次	50		3年次	33		3年次	25					
		4年次以上	57		4年次以上	57		4年次以上	31		4年次以上	44					
3位	172	1年次	36	131	1年次	33	131	1年次	17	116	1年次	16	131	1年次	16		
		2年次	41		2年次	36		2年次	26		2年次	28					
		3年次	47		3年次	36		3年次	40		3年次	36					
		4年次以上	48		4年次以上	26		4年次以上	48		4年次以上	36					
		⑨				⑩				⑪				⑫			
		法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったためから				司法修習の1年間、貸与制の下で給与の支給を受けられないためから				民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷ったためから				その他			
1位	37	1年次	9	71	1年次	4	32	1年次	6	31	1年次	6	71	1年次	6		
		2年次	9		2年次	10		2年次	4		2年次	8					
		3年次	13		3年次	23		3年次	12		3年次	9					
		4年次以上	6		4年次以上	34		4年次以上	10		4年次以上	8					
2位	64	1年次	14	43	1年次	2	52	1年次	11	5	1年次	0	43	1年次	0		
		2年次	19		2年次	9		2年次	12		2年次	1					
		3年次	15		3年次	14		3年次	13		3年次	3					
		4年次以上	16		4年次以上	18		4年次以上	16		4年次以上	1					
3位	85	1年次	17	37	1年次	8	48	1年次	7	30	1年次	6	37	1年次	6		
		2年次	28		2年次	9		2年次	8		2年次	4					
		3年次	24		3年次	8		3年次	7		3年次	5					
		4年次以上	16		4年次以上	12		4年次以上	26		4年次以上	15					
		⑬				⑭											
		保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したためから				大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったためから											
1位	17	1年次	6	4	1年次	0											
		2年次	2		2年次	0											
		3年次	4		3年次	1											
		4年次以上	5		4年次以上	3											
2位	14	1年次	6	7	1年次	0											
		2年次	4		2年次	2											
		3年次	0		3年次	1											
		4年次以上	4		4年次以上	4											
3位	16	1年次	4	13	1年次	0											
		2年次	1		2年次	3											
		3年次	5		3年次	6											
		4年次以上	6		4年次以上	4											



(4) 法曹等を選択肢の1つとして考えていたこともない学生の法曹等を志望しない理由(上位3つまで選択可)

(単位:人)

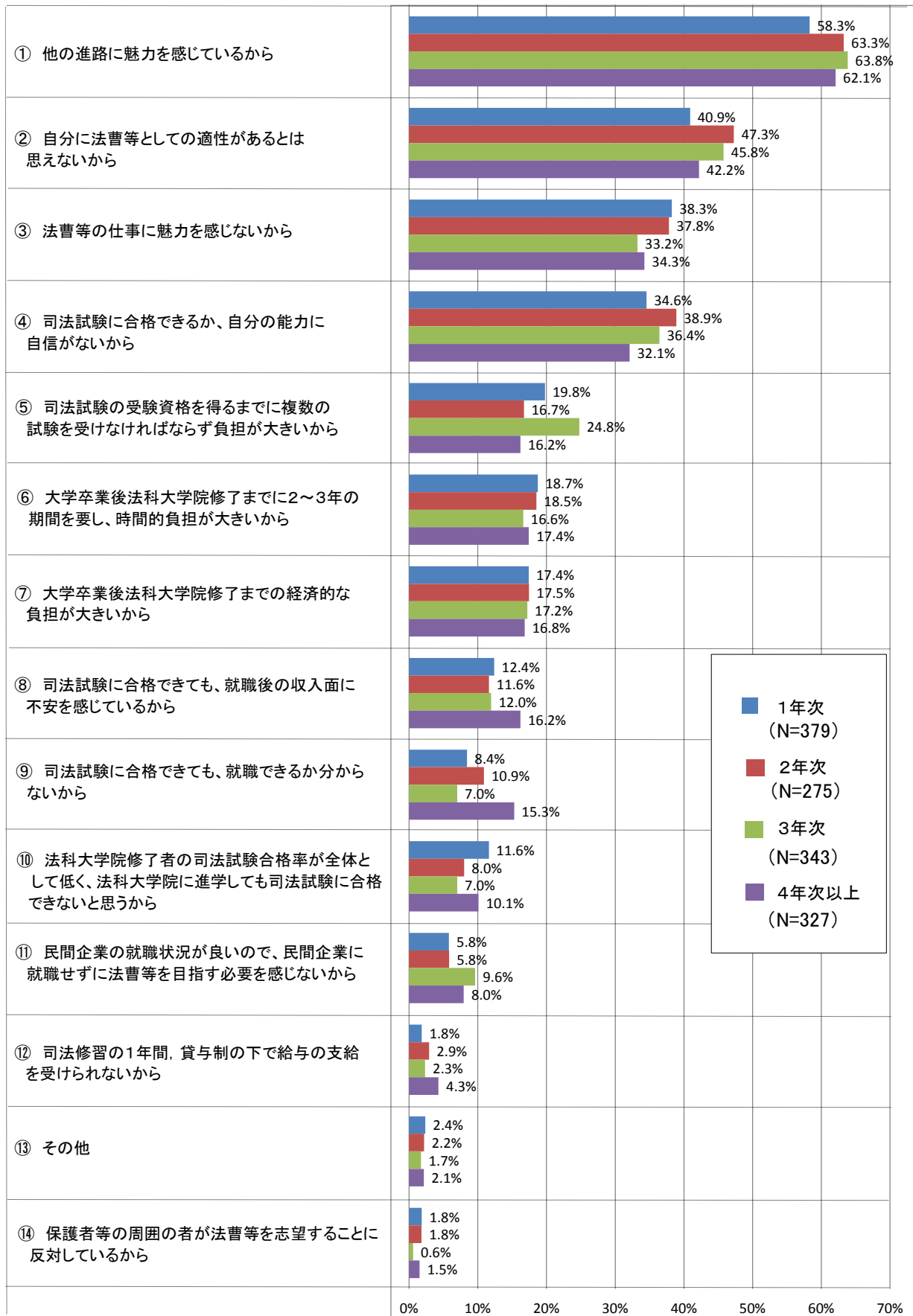
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	-
	他の進路に魅力を感じているから	自分に法曹等としての適性があるとは思えないから	法曹等の仕事に魅力を感じないから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから	司法試験に合格できても、就職できるか分からないから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指す必要を感じないから	司法修習の1年間、貸与制の下で給与の支給を受けられないから	その他	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから	選択なし
1位	579	188	182	131	55	39	42	33	19	23	12	3	15	3	0
2位	127	226	207	160	103	93	86	56	52	50	32	18	3	7	104
3位	111	166	86	177	101	104	100	84	65	50	53	16	10	9	192
回答数	817	580	475	468	259	236	228	173	136	123	97	37	28	19	-
割合	61.7%	43.8%	35.9%	35.3%	19.6%	17.8%	17.2%	13.1%	10.3%	9.3%	7.3%	2.8%	2.1%	1.4%	-



(参考)学年別内訳

(単位:人)

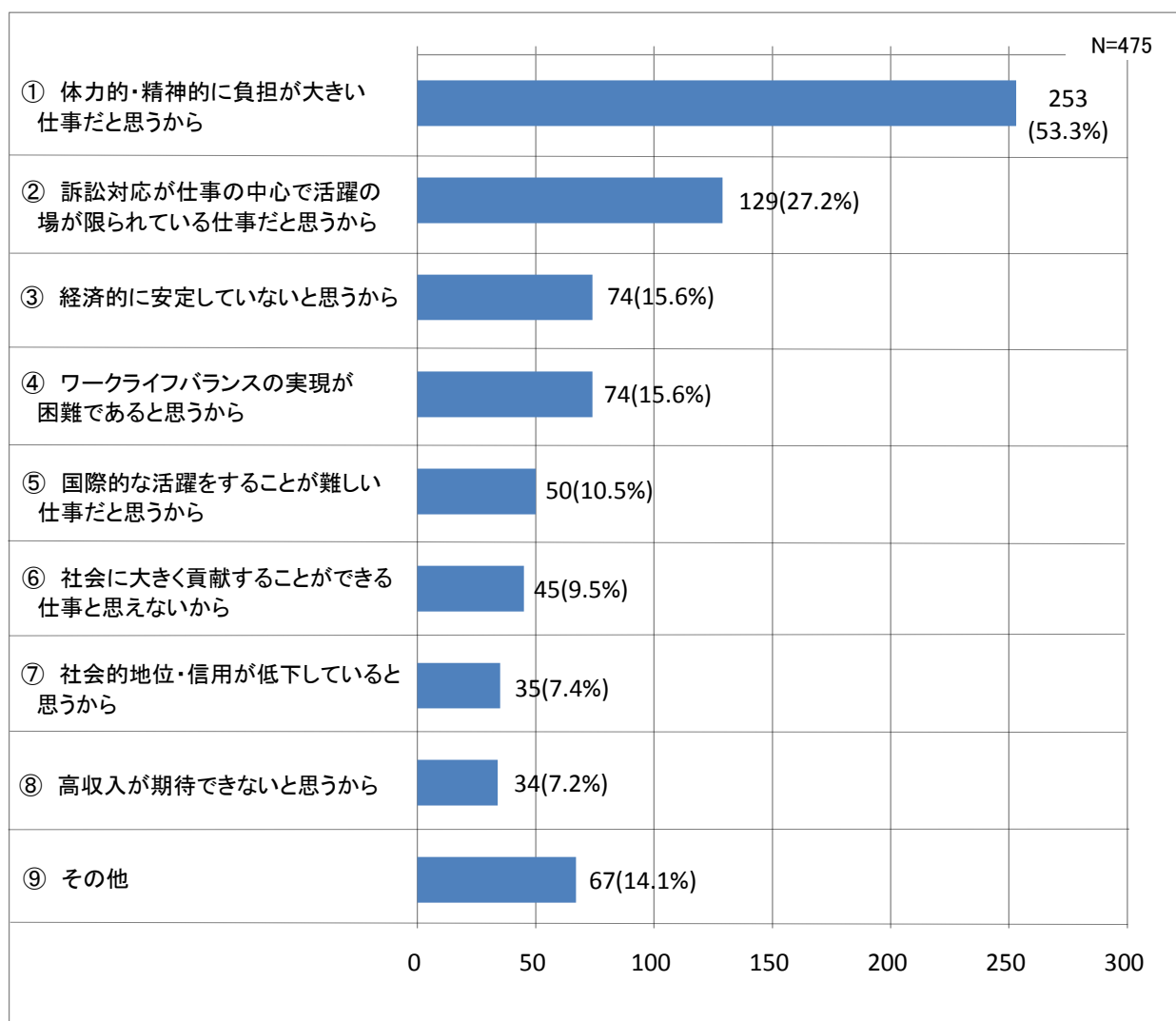
		①				②				③				④										
		他の進路に魅力を感じているから				自分に法曹等としての適性があるとは思えないから				法曹等の仕事に魅力を感じないから				司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから										
1位	579	1年次	156	2年次	121	188	1年次	52	2年次	35	182	1年次	69	2年次	45	131	1年次	35	2年次	27	3年次	37	4年次以上	32
2位	127	1年次	35	2年次	26	226	1年次	50	2年次	66	207	1年次	62	2年次	38	160	1年次	44	2年次	34	3年次	45	4年次以上	37
3位	111	1年次	30	2年次	27	166	1年次	53	2年次	29	86	1年次	14	2年次	21	177	1年次	52	2年次	46	3年次	43	4年次以上	36
		⑤				⑥				⑦				⑧										
		司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず負担が大きいから				大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きいから				大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから				司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから										
1位	55	1年次	13	2年次	11	39	1年次	15	2年次	8	42	1年次	11	2年次	10	33	1年次	8	2年次	4	3年次	6	4年次以上	15
2位	103	1年次	34	2年次	12	93	1年次	25	2年次	22	86	1年次	26	2年次	18	56	1年次	16	2年次	10	3年次	12	4年次以上	18
3位	101	1年次	28	2年次	23	104	1年次	31	2年次	21	100	1年次	29	2年次	20	84	1年次	23	2年次	18	3年次	23	4年次以上	20
		⑨				⑩				⑪				⑫										
		司法試験に合格できても、就職できるか分からないから				法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから				民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指す必要を感じないから				司法修習の1年間、貸与制の下で給与の支給を受けられないから										
1位	19	1年次	5	2年次	5	23	1年次	9	2年次	6	12	1年次	1	2年次	0	3	1年次	1	2年次	0	3年次	1	4年次以上	1
2位	52	1年次	11	2年次	12	50	1年次	20	2年次	8	32	1年次	5	2年次	9	18	1年次	5	2年次	5	3年次	3	4年次以上	5
3位	65	1年次	16	2年次	13	50	1年次	15	2年次	8	53	1年次	16	2年次	7	16	1年次	1	2年次	3	3年次	4	4年次以上	8
		⑬				⑭																		
		その他				保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから																		
1位	15	1年次	4	2年次	3	3	1年次	0	2年次	0														
2位	3	1年次	2	2年次	0	7	1年次	4	2年次	2														
3位	10	1年次	3	2年次	3	9	1年次	3	2年次	3														



(5) 法曹等の仕事に魅力を感じない理由について
 (「法曹等を選択肢の1つとして考えていたこともない」かつ「法曹等を志望しない理由として法曹等の仕事に魅力を感じないから」と回答した学生のみ回答(複数選択可))

(単位:人)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから	訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから	経済的に安定していないと思うから	ワークライフバランスの実現が困難であると思うから	国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから	社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから	社会的地位・信用が低下していると思うから	高収入が期待できないと思うから	その他
回答数	253	129	74	74	50	45	35	34	67
割合	53.3%	27.2%	15.6%	15.6%	10.5%	9.5%	7.4%	7.2%	14.1%

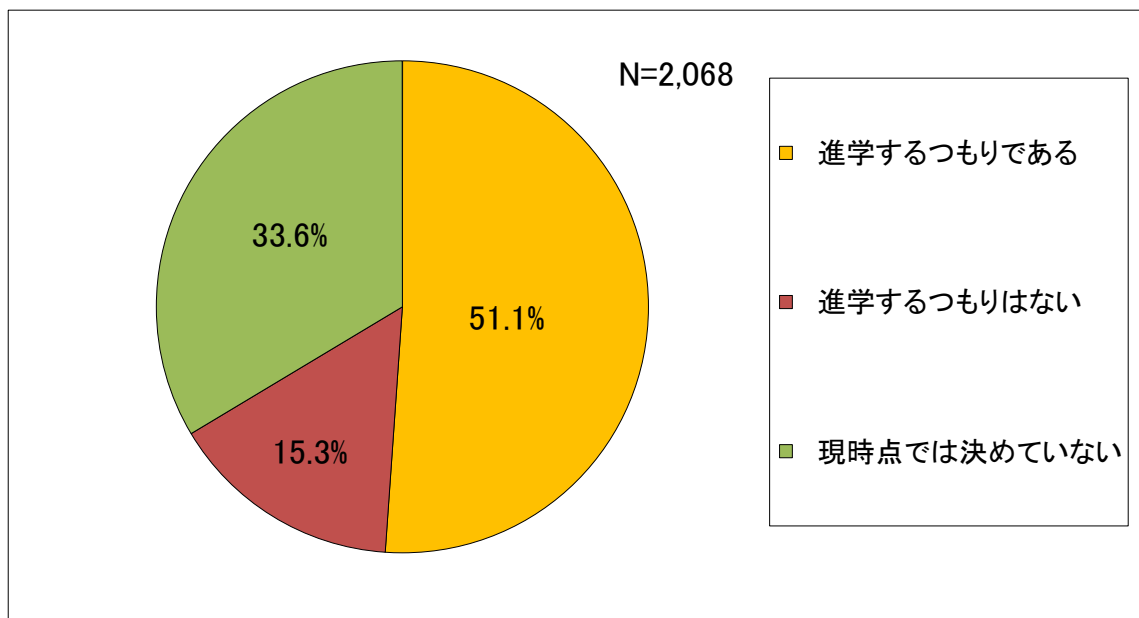


8 法科大学院への進学、大学在学中の予備試験の受験(現在志望・選択肢の1つとして考えている学生のみ回答)

(1) 法科大学院への進学予定

(単位:人)

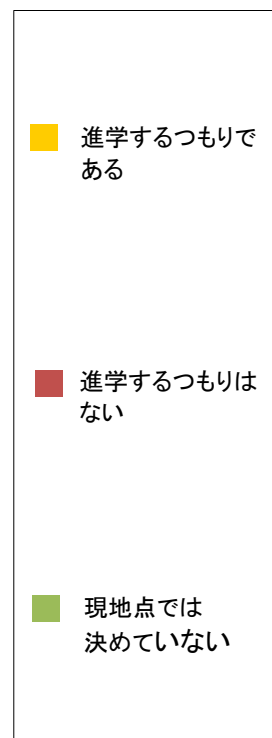
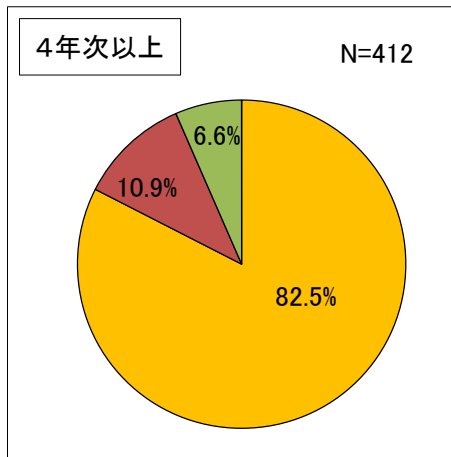
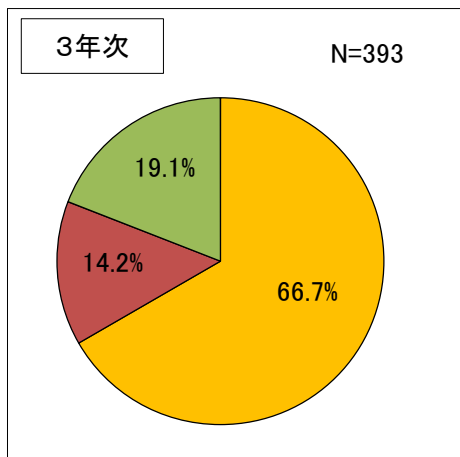
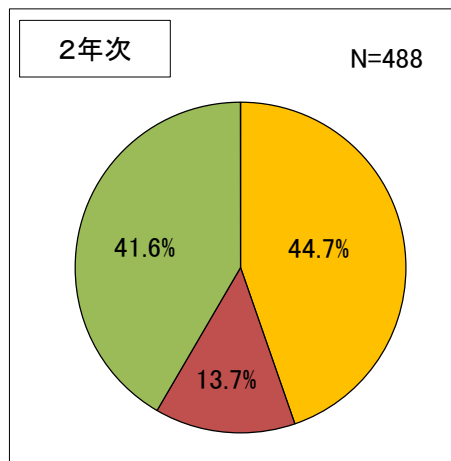
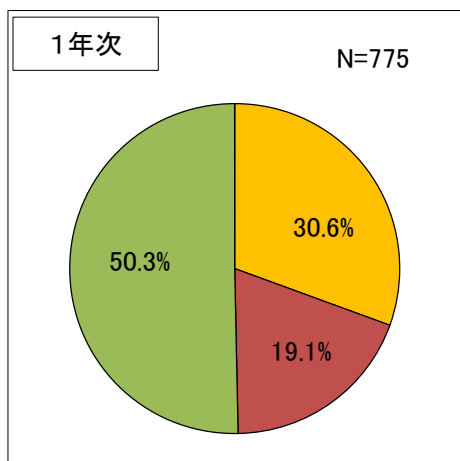
	進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない	合計
回答数	1,057	316	695	2,068
割合	51.1%	15.3%	33.6%	100.0%



(参考)学年別内訳

(単位:人)

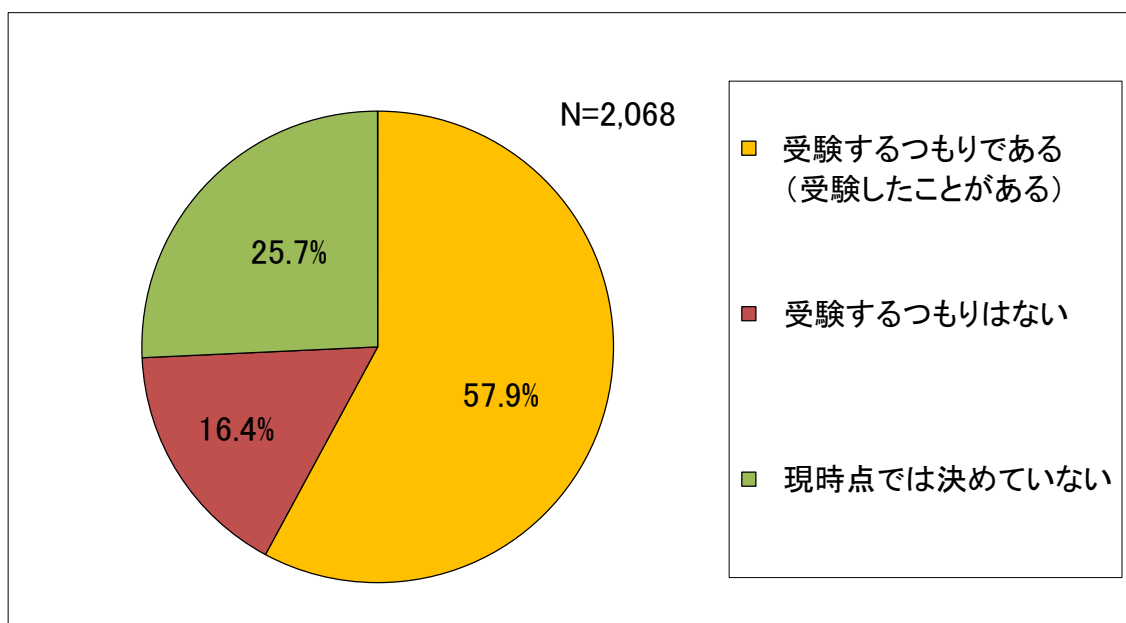
	進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない	合計
1年次	237	148	390	775
	30.6%	19.1%	50.3%	100.0%
2年次	218	67	203	488
	44.7%	13.7%	41.6%	100.0%
3年次	262	56	75	393
	66.7%	14.2%	19.1%	100.0%
4年次以上	340	45	27	412
	82.5%	10.9%	6.6%	100.0%
回答数	1,057	316	695	2,068
割合	51.1%	15.3%	33.6%	100.0%



(2) 大学在学中の予備試験の受験予定

(単位:人)

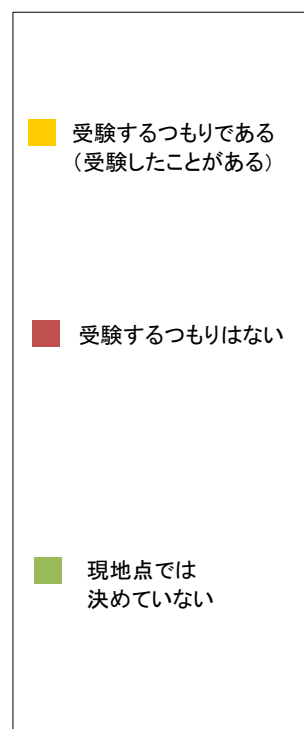
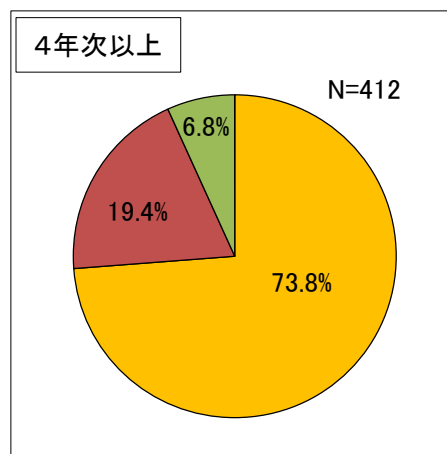
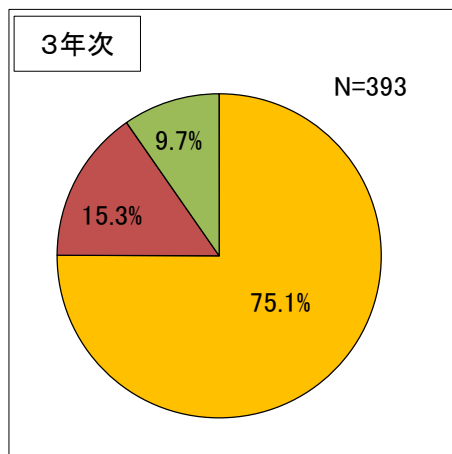
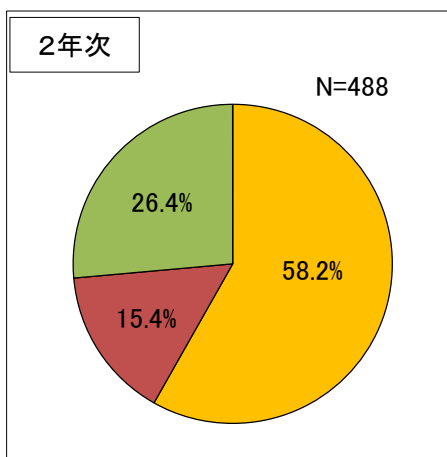
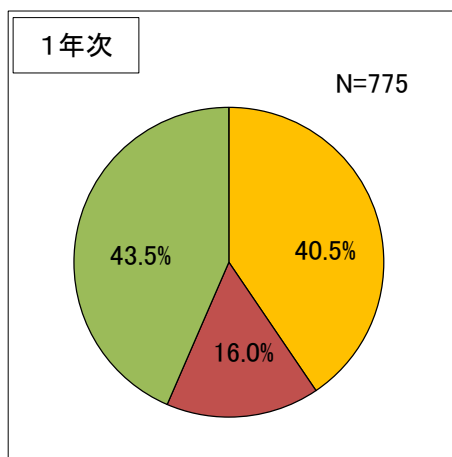
	受験するつもり である (受験したことがある)	受験するつもり はない	現時点では 決めていない	合計
回答数	1,197	339	532	2,068
割合	57.9%	16.4%	25.7%	100.0%



(参考) 学年別内訳

(単位: 人)

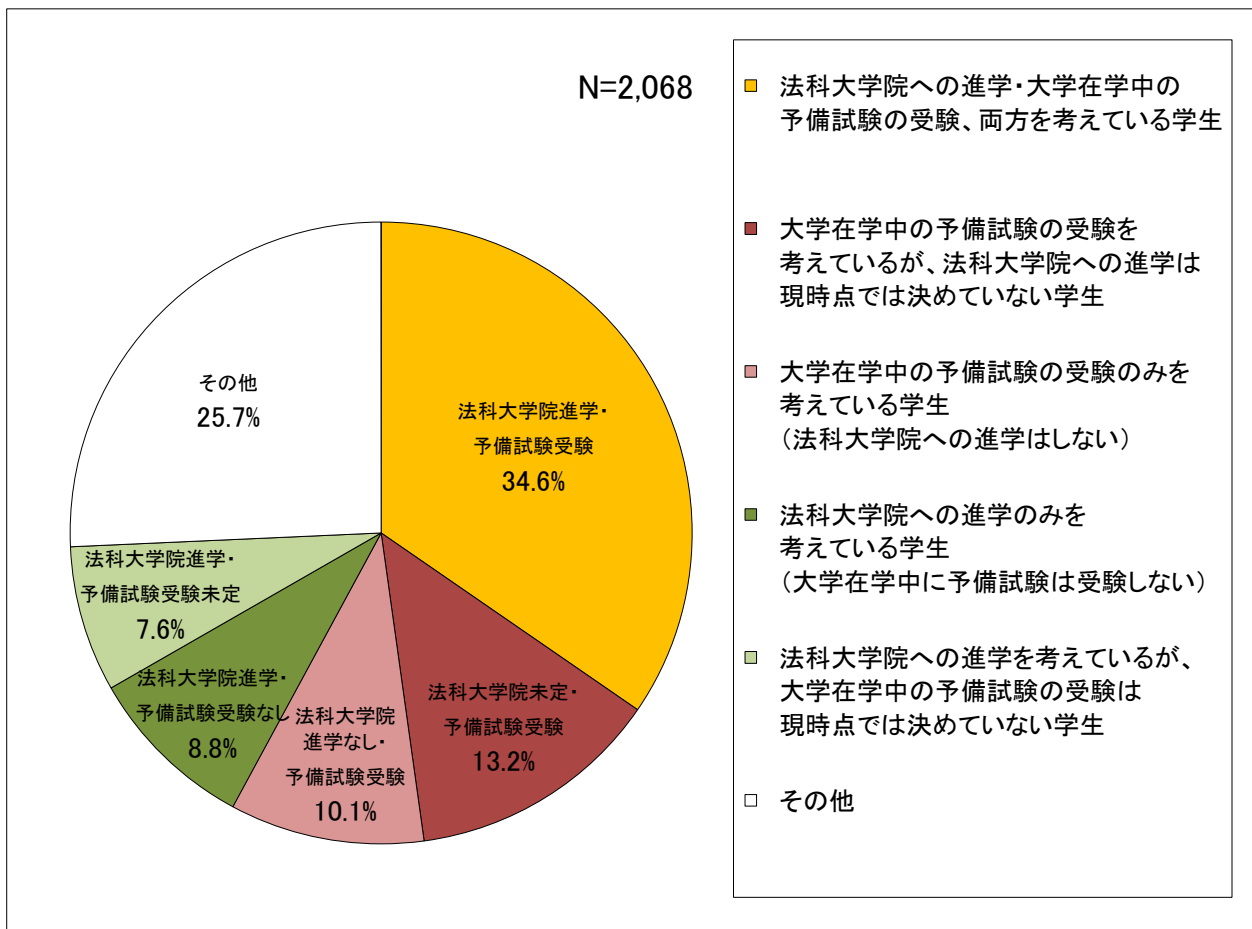
	受験するつもり である (受験したことがある)	受験するつもり はない	現時点では 決めていない	合計
1年次	314	124	337	775
	40.5%	16.0%	43.5%	100.0%
2年次	284	75	129	488
	58.2%	15.4%	26.4%	100.0%
3年次	295	60	38	393
	75.1%	15.3%	9.7%	100.0%
4年次以上	304	80	28	412
	73.8%	19.4%	6.8%	100.0%
回答数	1,197	339	532	2,068
割合	57.9%	16.4%	25.7%	100.0%



(3) 法科大学院への進学予定・大学在学中の予備試験の受験予定

(単位:人)

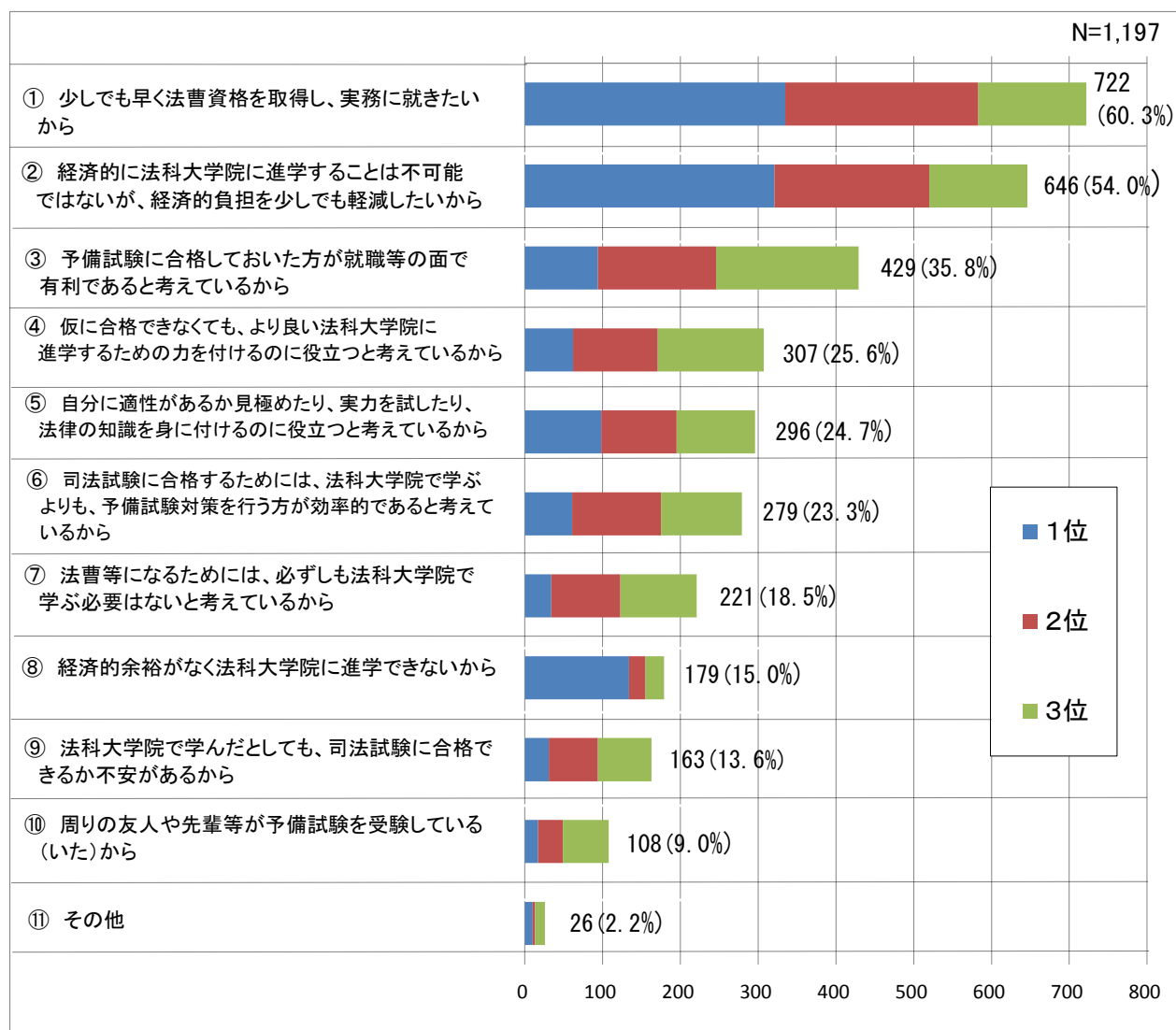
予備試験の 受験予定	法科大学院への 進学予定		
	進学するつもりである	進学するつもりはない	現時点では決めていない
受験するつもりである (受験したことがある)	716 (34.6%)	209 (10.1%)	272 (13.2%)
受験するつもりはない	183 (8.8%)	47 (2.3%)	109 (5.3%)
現時点では決めていない	158 (7.6%)	60 (2.9%)	314 (15.2%)



(4) 大学在学中の予備試験の受験理由
 (大学在学中に予備試験を受験するつもりである学生のみ回答(上位3つまで選択可))

(単位:人)

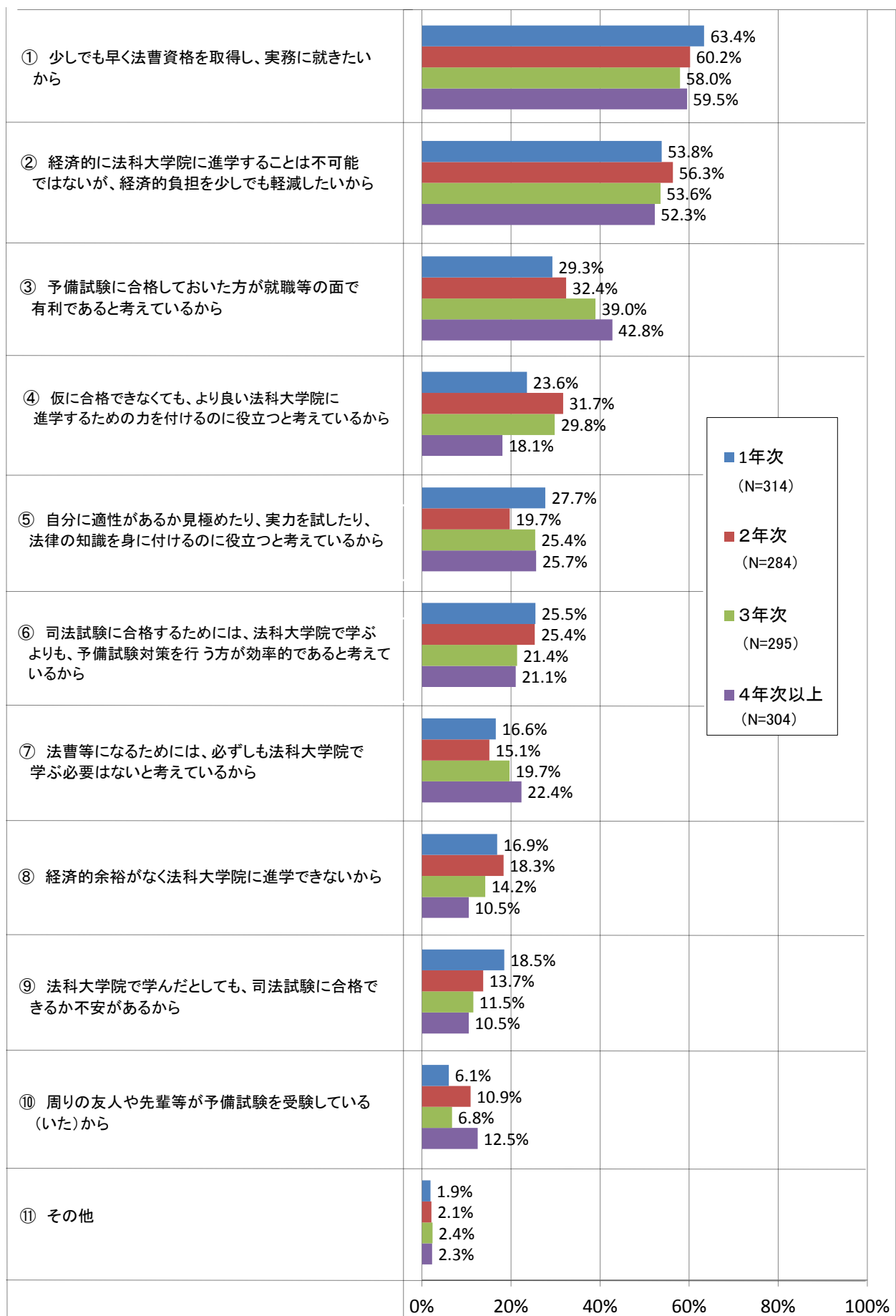
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	-
	少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから	予備試験に合格しておいた方が就職等の面で有利であると考えているから	仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから	自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから	司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行う方が効率的であると考えているから	法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないと考えているから	経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから	法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから	周りの友人や先輩等が予備試験を受験している(いた)から	その他	選択なし
1位	335	321	94	62	98	61	34	134	31	17	10	0
2位	248	199	152	109	97	114	89	21	63	32	3	70
3位	139	126	183	136	101	104	98	24	69	59	13	145
回答数	722	646	429	307	296	279	221	179	163	108	26	-
割合	60.3%	54.0%	35.8%	25.6%	24.7%	23.3%	18.5%	15.0%	13.6%	9.0%	2.2%	-



(参考)学年別内訳

(単位:人)

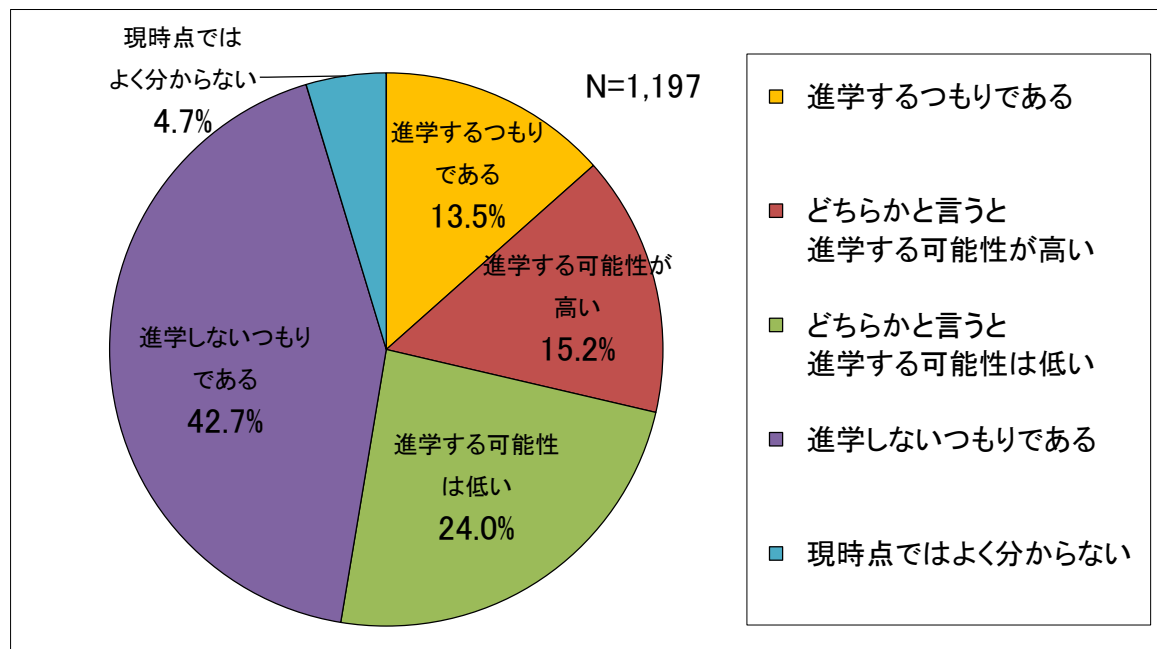
		①		②		③	
		少しでも早く法曹資格を取得し、 実務に就きたいから		経済的に法科大学院に進学する ことは不可能ではないが、 経済的負担を少しでも軽減したい から		予備試験に合格しておいた方が 就職等の面で有利であると考え ているから	
1位	335	1年次	108	321	69	94	23
		2年次	84		70		24
		3年次	61		91		18
		4年次以上	82		91		29
2位	248	1年次	53	199	59	152	42
		2年次	53		49		27
		3年次	74		45		39
		4年次以上	68		46		44
3位	139	1年次	38	126	41	183	27
		2年次	34		41		41
		3年次	36		22		58
		4年次以上	31		22		57
		④		⑤		⑥	
		仮に合格できなくても、より良い 法科大学院に進学するための 力を付けるのに役立つと考えて いるから		自分に適性があるか見極めたり、 実力を試したり、法律の知識 を身に付けるのに役立つと考え ているから		司法試験に合格するためには、 法科大学院で学ぶよりも、予備 試験対策を行う方が効率的であ ると考えているから	
1位	62	1年次	13	98	29	61	13
		2年次	15		19		18
		3年次	23		27		17
		4年次以上	11		23		13
2位	109	1年次	24	97	30	114	36
		2年次	38		19		32
		3年次	33		22		20
		4年次以上	14		26		26
3位	136	1年次	37	101	28	104	31
		2年次	37		18		22
		3年次	32		26		26
		4年次以上	30		29		25
		⑦		⑧		⑨	
		法曹等になるためには、必ずし も法科大学院で学ぶ必要はない と考えているから		経済的余裕がなく法科大学院に 進学できないから		法科大学院で学んだとしても、 司法試験に合格できるか不安 があるから	
1位	34	1年次	8	134	34	31	11
		2年次	4		44		4
		3年次	9		33		9
		4年次以上	13		23		7
2位	89	1年次	21	21	5	63	23
		2年次	17		6		20
		3年次	25		4		10
		4年次以上	26		6		10
3位	98	1年次	23	24	14	69	24
		2年次	22		2		15
		3年次	24		5		15
		4年次以上	29		3		15
		⑩		⑪			
		周りの友人や先輩等が予備試 験を受験している(いた)から		その他			
1位	17	1年次	3	10	3		
		2年次	1		1		
		3年次	4		3		
		4年次以上	9		3		
2位	32	1年次	6	3	0		
		2年次	9		1		
		3年次	5		1		
		4年次以上	12		1		
3位	59	1年次	10	13	3		
		2年次	21		4		
		3年次	11		3		
		4年次以上	17		3		



(5) 大学在学中に予備試験に合格した場合における法科大学院への進学予定
 (大学在学中に予備試験を受験するつもりである学生のみ回答)

(単位:人)

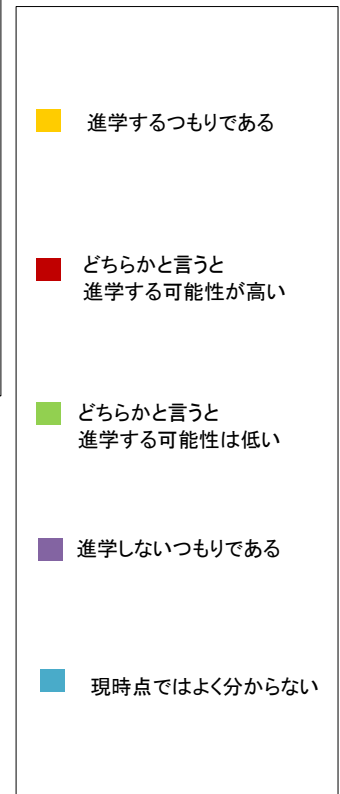
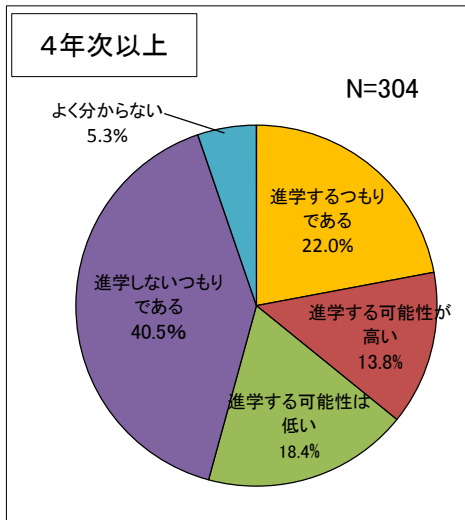
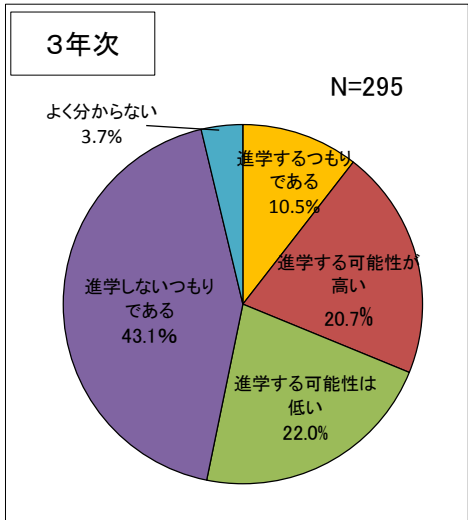
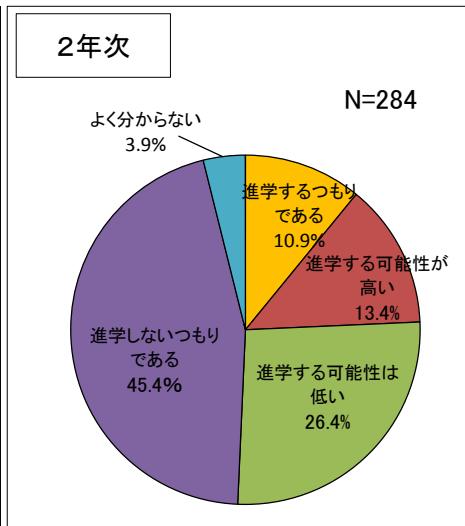
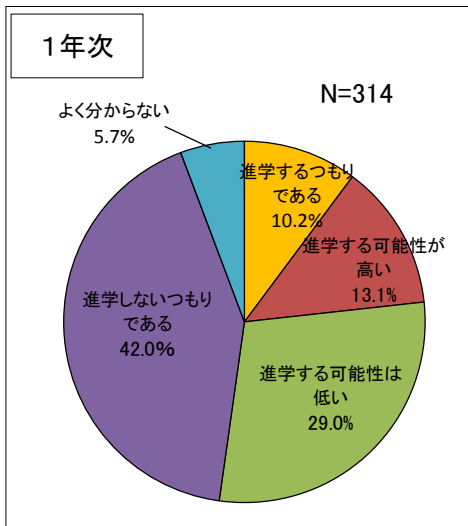
	進学するつもりである	どちらかと言うと進学する可能性が高い	どちらかと言うと進学する可能性は低い	進学しないつもりである	現時点ではよく分からない	合計
回答数	161	182	287	511	56	1,197
割合	13.5%	15.2%	24.0%	42.7%	4.7%	100.0%



(参考) 学年別内訳

(単位: 人)

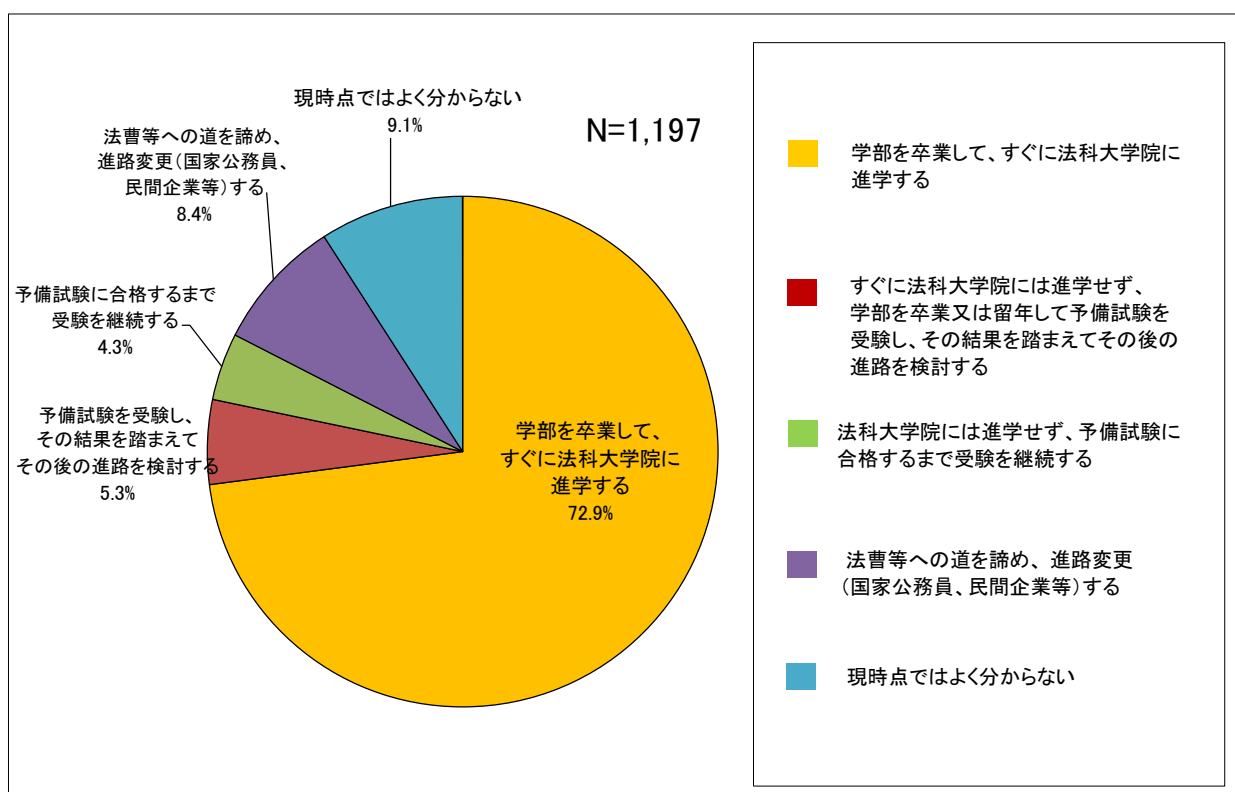
	進学するつもりである	どちらかと言うと進学する可能性が高い	どちらかと言うと進学する可能性は低い	進学しないつもりである	現時点ではよく分からない	合計
1年次	32	41	91	132	18	314
	10.2%	13.1%	29.0%	42.0%	5.7%	100.0%
2年次	31	38	75	129	11	284
	10.9%	13.4%	26.4%	45.4%	3.9%	100.0%
3年次	31	61	65	127	11	295
	10.5%	20.7%	22.0%	43.1%	3.7%	100.0%
4年次以上	67	42	56	123	16	304
	22.0%	13.8%	18.4%	40.5%	5.3%	100.0%
回答数	161	182	287	511	56	1,197
割合	13.5%	15.2%	24.0%	42.7%	4.7%	100.0%



(6) 大学4年次までに予備試験に合格しなかった場合の進路
 (大学在学中に予備試験を受験するつもりである学生のみ回答)

(単位:人)

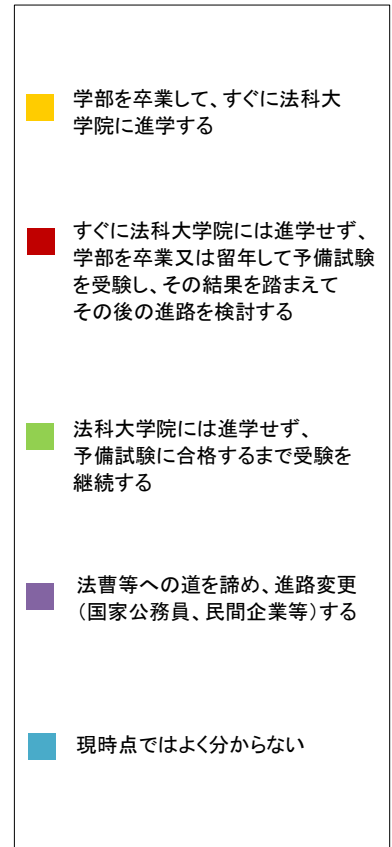
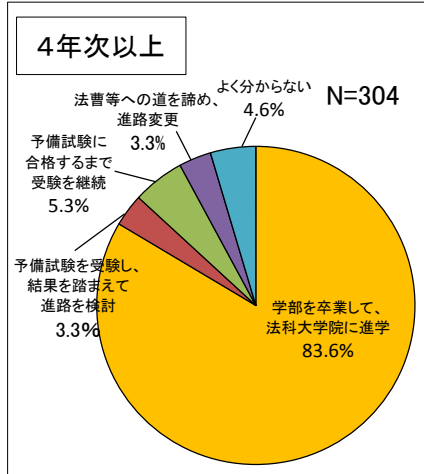
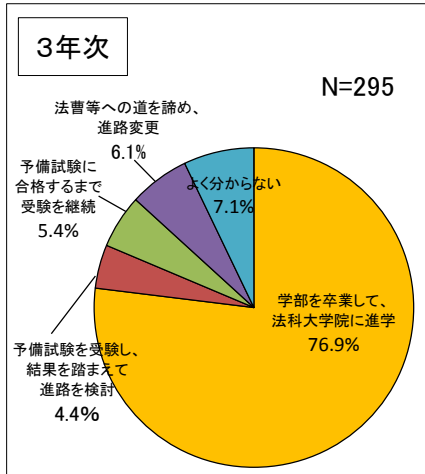
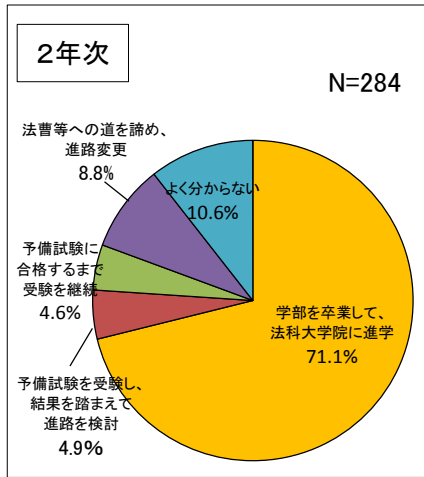
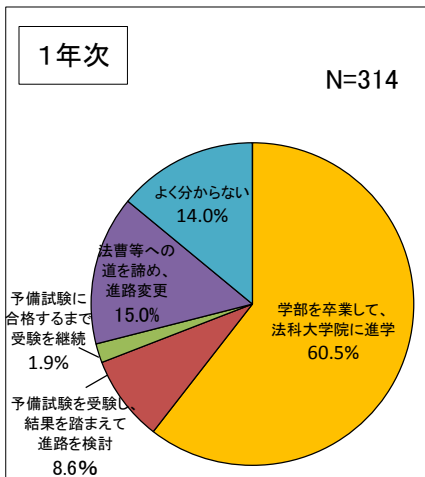
	学部を卒業して、 すぐに法科大学院に 進学する	すぐに法科大学院 には進学せず、学 部を卒業又は留年 して予備試験を受 験し、その結果を踏 まえてその後の進 路を検討する	法科大学院には 進学せず、予備 試験に合格する まで受験を継続 する	法曹等への道を 諦め、進路変更 (国家公務員、 民間企業等)する	現時点では よく分からない	合計
回答数	873	64	51	100	109	1,197
割合	72.9%	5.3%	4.3%	8.4%	9.1%	100.0%



(参考)学年別内訳

(単位:人)

	学部を卒業して、 すぐに法科大学 院に進学する	すぐに法科大学院 には進学せず、学 部を卒業又は留年 して予備試験を受 験し、その結果を踏 まえてその後の進 路を検討する	法科大学院には 進学せず、予備 試験に合格する まで受験を継続 する	法曹等への道を 諦め、進路変更 (国家公務員、 民間企業等)する	現時点では よく分からない	合計
1年次	190	27	6	47	44	314
	60.5%	8.6%	1.9%	15.0%	14.0%	100.0%
2年次	202	14	13	25	30	284
	71.1%	4.9%	4.6%	8.8%	10.6%	100.0%
3年次	227	13	16	18	21	295
	76.9%	4.4%	5.4%	6.1%	7.1%	100.0%
4年次以上	254	10	16	10	14	304
	83.6%	3.3%	5.3%	3.3%	4.6%	100.0%
回答数	873	64	51	100	109	1,197
割合	72.9%	5.3%	4.3%	8.4%	9.1%	100.0%



法学部に在籍されている皆様に対する法曹志望に関するアンケート

法 務 省
文 部 科 学 省

※ 法学部（法学系課程を含む。）に在籍されているあなたのことについてお聞きします。所要10分程度で終了しますので、御協力をお願いします。

※ 結果については、個人が特定できないように集計した上で、法曹養成制度の充実のために活用させていただく予定です。

問1 年齢（平成28年9月末日現在）について、以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | | |
|---|-------|
| 1 | 18歳以下 |
| 2 | 19歳 |
| 3 | 20歳 |
| 4 | 21歳 |
| 5 | 22歳 |
| 6 | 23歳 |
| 7 | 24歳 |
| 8 | 25歳以上 |

問2 性別について、以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | | |
|---|----|
| 1 | 男性 |
| 2 | 女性 |

問3 通学中の大学名、学部、学科、コース・専攻と在籍学年を教えてください。
学科、コース・専攻については、設置されていない場合やまだ選択していない場合、記載不要です。

大学名 学部 学年 年次

学科 コース・専攻

問4 将来の職業として現時点で第一志望として考えているものについて、以下の選択肢のうちから当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 国内企業
- 2 外資系企業
- 3 国家公務員
- 4 地方公務員
- 5 国際機関職員（NGOを含む）
- 6 公益法人・特定非営利活動法人（NPO法人）職員
- 7 法曹等（法曹（裁判官、検察官及び弁護士）のみならず、司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む）
- 8 法曹以外の隣接法律専門職（司法書士、行政書士、弁理士など）
- 9 経営者、自営・自由業
- 10 研究者
- 11 その他（具体的に)
- 12 特になし

問5 将来の職業を選択するに当たって重視することについて、以下の選択肢のうちから当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 仕事の内容に多くの選択肢があること
- 2 自分の興味・関心のある分野で活躍できること
- 3 身に付けた専門的知識を活かせること
- 4 社会への貢献度が高いこと
- 5 国際的な分野で活躍できること
- 6 社会的地位・信用が高いこと
- 7 高収入が期待できること
- 8 経済的に安定していること
- 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和 [結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む。]）を実現できること
- 10 その他（具体的に)

問6 将来の職業として、法曹等（法曹（裁判官、検察官及び弁護士）のみならず、司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む、以下同じ。なお、法曹になるルートについては3頁の「参考」参照。）を志望したことがありますか。以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 現在、志望している（→問7、8のみ回答）
- 2 現在、選択肢の1つとして考えている（→問7、8のみ回答）
- 3 過去に志望していた（→問9のみ回答）
- 4 過去に選択肢の1つとして考えていた（→問9のみ回答）
- 5 志望していない（選択肢の1つとして考えていたこともない）（→問10のみ回答）

(参考)

法曹になるには、司法試験に合格する必要があります。

司法試験の受験資格を得るためには、法科大学院を修了するほか、経済的事情や実社会で十分な経験を経ているなどの理由により法科大学院を経由しない方のために設けられている予備試験(※1)に合格する必要があります。

司法試験合格後、法曹資格を取得せずに社会で活躍されている方のほか、司法試験合格後1年間の司法修習(※2)を経て裁判官、検察官及び弁護士等として活躍されている方がいます。

(※1)

司法試験予備試験とは、法科大学院課程の修了者と同等の学識及びその応用能力並びに法律に関する実務の基礎的素養を有するかどうかを判定することを目的とした試験です。同試験の合格者については、法科大学院修了者と同様、司法試験の受験資格を得ることができます。

(※2)

司法修習では、以前は、司法修習生に対して国庫から一定額の給与を支給する給費制が実施されてきました。平成23年11月に修習を開始した新65期司法修習生からは、希望者全員に対して修習資金を無利息で貸与する制度(貸与制)に移行しました。希望者はすべてその資力にかかわらず修習資金の貸与を受けることができます。

[貸与制の内容]

・ 貸与額	月額23万円(基本額)
	扶養家族あり又は住居の賃借 25万5000円
	扶養家族あり+住居の賃借 28万円
	基本額未満の額の貸与希望 18万円
・ 利息	なし
・ 返還方法	修習期間終了5年後から10年間の分割 (免除制度・資力の乏しい者に対する返還猶予制度あり)

問7 問6で「1 現在、志望している」又は「2 現在、選択肢の1つとして考えている」を選択した方にお聞きします。

(1) 法曹等を志望した(選択肢の1つとして考えるようになった)のはいつ頃ですか。以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 中学生以前
- 2 高校生になってから
- 3 大学生になってから
- 4 その他(具体的に)

(2) 法曹等を志望した(選択肢の1つとして考えるようになった)きっかけは何ですか。以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください(複数回答可)。

- 1 法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから
- 2 社会的弱者や困った人を助けたり、人に役立つ仕事をしたりしたいと思ったから
- 3 基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから
- 4 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから
- 5 テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから
- 6 周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから
- 7 周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から
- 8 その他(具体的に)
- 9 特になし

(3) あなたは、法曹等の仕事のどのようなところに魅力を感じていますか。以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください(複数回答可)。

- 1 仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ
- 2 法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ
- 3 社会的弱者や困っている人を助けることができるところ
- 4 基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ
- 5 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ
- 6 社会的地位・信用が高いところ
- 7 高収入が期待できるところ
- 8 経済的に安定しているところ
- 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス(仕事と生活の調和[結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む])を実現できるところ
- 10 その他(具体的に)
- 11 特になし

(4) 法曹等として、どのような進路を考えていますか。以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください(複数回答可)。

- 1 弁護士
- 2 裁判官
- 3 検察官
- 4 その他(具体的に)
- 5 まだ決めていない

- (5) 国内の裁判の分野だけにとどまらず，涉外弁護士や企業内弁護士，弁護士資格をもって国や自治体の公務員になる，法曹資格を取得せずに企業等で活躍する等，法曹等がその専門性をいかして多様な役割を果たすことができる領域が広がっていますが，このように法曹等の活動領域が拡大している現状をご存じですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び，○で囲んでください。

- | |
|-----------|
| 1 よく知っている |
| 2 少し知っている |
| 3 知らない |

- (6) 将来の進路を考える上で，(5)のような活動領域（海外，企業，国・自治体の分野等）で働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び，○で囲んでください。

- | |
|--------------|
| 1 興味・関心がある |
| 2 少し興味・関心がある |
| 3 興味・関心はない |

- (7) 学部在学中に司法試験予備校を利用したことがありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- | |
|-------------------------------|
| 1 司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある |
| 2 司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある |
| 3 利用したことはない |

- (8) 法曹等を志望する（選択肢の一つとして考えている）に当たって，現在，不安や迷いを感じていますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び，○で囲んでください。

- | |
|------------------------|
| 1 不安や迷いを感じている（→(9)へ） |
| 2 少し不安や迷いを感じている（→(9)へ） |
| 3 不安や迷いを感じていない（→問8へ） |

(9) (8)で「1 不安や迷いを感じている」又は「2 少し不安や迷いを感じている」を選択した方にお聞きします。

あなたが法曹等を志望する（選択肢の一つとして考えている）に当たって感じている不安や迷いは何ですか。以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、○で囲んでください（○は3つまで）。また、不安や迷いの大きい順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 他の進路（例えば、国家公務員、民間企業や研究職等）にも魅力を感じている
- 2 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがある
- 3 自分に法曹等としての適性があるか分からない
- 4 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している
- 5 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない
- 6 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きい
- 7 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である
- 8 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい
- 9 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい
- 10 司法修習の1年間、貸与制の下で給与の支給を受けられない
- 11 司法試験に合格できても、就職できるか分からない
- 12 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある
- 13 その他
(具体的に)

1 位

2 位

3 位

問8 問6で「1 現在、志望している」又は「2 現在、選択肢の1つとして考えている」を選択した方にお聞きします。

(1) 法科大学院への進学・大学在学中の予備試験の受験に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 現時点において、法科大学院に進学することを予定していますか。
以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 進学するつもりである
- 2 進学するつもりはない
- 3 現時点では決めていない

イ 現時点において、大学在学中に予備試験を受験することを予定していますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 受験するつもりである（受験したことがある）（→(2)へ）
- 2 受験するつもりはない（→これで終わりです）
- 3 現時点では決めていない（→これで終わりです）

(2) (1)イで「1 受験するつもりである（受験したことがある）」を選択した方にお聞きします。

ア 大学在学中に予備試験を受験した又は受験しようとする理由は何ですか。以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、○で囲んでください（○は3つまで）。また、要因の強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから
- 2 経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから
- 3 少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから
- 4 法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないと考えているから
- 5 司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行う方が効率的であると考えているから
- 6 法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから
- 7 自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから
- 8 予備試験に合格しておいた方が就職等の面で有利であると考えているから
- 9 仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから
- 10 周りの友人や先輩等が予備試験を受験している（いた）から
- 11 その他(具体的に)

1位 2位 3位

イ 大学在学中に予備試験に合格した場合、法科大学院に進学する予定がありますか。以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 進学するつもりである
- 2 どちらかと言うと進学する可能性が高い
- 3 どちらかと言うと進学する可能性は低い
- 4 進学しないつもりである
- 5 現時点ではよく分からない

ウ 大学4年次までに予備試験に合格しなかった場合、どのような進路を考えていますか。以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する
- 2 すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業又は留年して予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する
- 3 法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する
- 4 法曹等への道を諦め、進路変更（国家公務員、民間企業等）する
- 5 現時点ではよく分からない

問9 問6で「3 過去に志望していた」又は「4 過去に選択肢の1つとして考えていた」を選択した方にお聞きします。

- (1) 法曹等を志望した（選択肢の1つとして考えるようになった）のはいつ頃ですか。以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 中学生以前
- 2 高校生になってから
- 3 大学生になってから
- 4 その他（具体的に)

- (2) 法曹等を志望した（選択肢の1つとして考えるようになった）きっかけは何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから
- 2 社会的弱者や困った人を助けたり、人に役立つ仕事をしたりしたいと思ったから
- 3 基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから
- 4 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから
- 5 テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから
- 6 周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから
- 7 周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している（いた）から
- 8 その他（具体的に)
- 9 特になし

- (3) あなたは、法曹等の仕事のどのようなところに魅力を感じていましたか。以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ
- 2 法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ
- 3 社会的弱者や困っている人を助けることができるところ
- 4 基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ
- 5 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ
- 6 社会的地位・信用が高いところ
- 7 高収入が期待できるところ
- 8 経済的に安定しているところ
- 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和 [結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む]）が実現できるところ
- 10 その他（具体的に)
- 11 特になし

- (4) 法曹等として、どのような進路を考えていましたか。以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 弁護士
- 2 裁判官
- 3 検察官
- 4 その他（具体的に)
- 5 まだ決めていなかった

- (5) 国内の裁判の分野だけにとどまらず，涉外弁護士や企業内弁護士，弁護士資格をもって国や自治体の公務員になる，法曹資格を取得せずに企業等で活躍する等，法曹等がその専門性をいかして多様な役割を果たすことができる領域が広がっていますが，このように法曹等の活動領域が拡大している現状をご存じですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び，○で囲んでください。

- | |
|-----------|
| 1 よく知っている |
| 2 少し知っている |
| 3 知らない |

- (6) 将来の進路を考える上で，(5)のような活動領域（海外，企業，国・自治体の分野等）で働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び，○で囲んでください。

- | |
|--------------|
| 1 興味・関心がある |
| 2 少し興味・関心がある |
| 3 興味・関心はない |

- (7) あなたが法曹志望を断念した（選択肢の1つから外した）理由（過去に法曹等を志望していた際の不安や迷いを含む）は何ですか。以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び，○で囲んでください（○は3つまで）。また，要因の強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ，2位まででも可）。

- | |
|---|
| 1 他の進路（例えば，国家公務員，民間企業や研究職等）に魅力を感じたから |
| 2 民間企業の就職状況が良いので，民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあったから |
| 3 自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから |
| 4 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから |
| 5 司法試験に合格できるか，自分の能力に自信がなくなったから |
| 6 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず，負担が大きいため |
| 7 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く，法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから |
| 8 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し，時間的負担が大きいため |
| 9 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいため |
| 10 大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから |
| 11 司法修習の1年間，貸与制の下で給与の支給を受けられないから |
| 12 司法試験に合格できても，就職できるか分からないから |
| 13 司法試験に合格できても，就職後の収入面に不安を感じたから |
| 14 その他
（具体的に |

1位

2位

3位

問10 問6で「5 志望していない（選択肢の一つとして考えていたこともない）」を選択した方にお聞きします。

(1) あなたが法曹等を志望しない（選択肢の1つとしても考えない）理由は何ですか。以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、○で囲んでください（○は3つまで）。また、要因の強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 他の進路（例えば、国家公務員、民間企業や研究職等）に魅力を感じているから
- 2 法曹等の仕事に魅力を感じないから
- 3 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指す必要を感じないから
- 4 自分に法曹等としての適性があるとは思えないから
- 5 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから
- 6 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから
- 7 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず負担が大きい
- 8 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから
- 9 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから
- 10 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから
- 11 司法修習の1年間、貸与制の下で給与の支給を受けられないから
- 12 司法試験に合格できても、就職できるか分からないから
- 13 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから
- 14 その他
(具体的に)

1位

2位

3位

(2) (1)で「2 法曹等の仕事に魅力を感じないから」を選択した方にお聞きします。

あなたが法曹等の仕事に魅力を感じない理由について、以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから
- 2 社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから
- 3 国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから
- 4 社会的地位・信用が低下していると思うから
- 5 高収入が期待できないと思うから
- 6 経済的に安定していないと思うから
- 7 ワークライフバランス（仕事と生活の調和 [結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む]）の実現が困難であると思うから
- 8 体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから
- 9 その他(具体的に)

- (3) 国内の裁判の分野だけにとどまらず，涉外弁護士や企業内弁護士，弁護士資格をもって国や自治体の公務員になる，法曹資格を取得せずに企業等で活躍する等，法曹等がその専門性をいかして多様な役割を果たすことができる領域が広がっていますが，このように法曹等の活動領域が拡大している現状をご存じですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び，○で囲んでください。

- | |
|-----------|
| 1 よく知っている |
| 2 少し知っている |
| 3 知らない |

- (4) 将来の進路を考える上で，(3)のような活動領域（海外，企業，国・自治体の分野等）で働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び，○で囲んでください。

- | |
|--------------|
| 1 興味・関心がある |
| 2 少し興味・関心がある |
| 3 興味・関心はない |